

(様式第10)

分大医総病第21号

令和 5年 10月 5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人大分大学長

北野正剛

大分大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地
氏名	国立大学法人大分大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

大分大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
電話(097) 549 - 4411

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科		8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	腫瘍内科	2	児童精神科	3	神経小児科	4	病理診断科	5	形成外科
6	リハビリテーション科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30	0	0	0	588	618

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	424	48	440.1	看護補助者	50	診療エックス線技師	0
歯科医師	9	1	9.1	理学療法士	14	臨床検査技師	51
薬剤師	42	0	42	作業療法士	9	衛生検査技師	0
保健師	3	0	3	視能訓練士	6	その他	0
助産師	22	0	22	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	640	23	659.5	臨床工学士	23	医療社会事業従事者	9
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	4
歯科衛生士	3	0	3	歯科技工士	1	事務職員	179
管理栄養士	10	0	10	診療放射線技師	36	その他の職員	47

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	48	眼科専門医	8
外科専門医	33	耳鼻咽喉科専門医	10
精神科専門医	5	放射線科専門医	12
小児科専門医	23	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	17
泌尿器科専門医	15	麻酔科専門医	17
産婦人科専門医	6	救急科専門医	8
		合計	222

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 三股 浩光 ) 任命年月日 令和 2 年 4 月 1 日

平成24年 4月～平成29年3月 医療安全部長  
 平成16年10月～令和2年3月 メディカル・リスクマネジメント委員会  
 令和2年4月～現在まで メディカル・リスクマネジメント委員会委員長  
 平成17年 4月～令和2年3月 感染予防対策委員会委員  
 令和2年4月～現在まで 感染予防対策委員会委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	470.1 人	8.7 人	478.8 人
1日当たり平均外来患者数	981.3 人	35.4 人	1016.7 人
1日当たり平均調剤数		1706.38	剤

必要医師数	107.825	人
必要歯科医師数	4	人
必要薬剤師数	22	人
必要(准)看護師数	274	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

#### 10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	236.08 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	8 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	81.71 m <sup>2</sup>	病床数	8 床	
	[移動式の場合]	台数	19 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	45 m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	220 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動生化学分析装置		
細菌検査室	148 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液培養装置、質量分析器		
病理検査室	139 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動免疫染色装置		
病理解剖室	283 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、撮影装置		
研究室	4585 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン、顕微鏡		
講義室	2145 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	15 室	収容定員	1785 人
図書室	1703 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	13 室	蔵書数	112190 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

#### 11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.3	%	逆紹介率	107.8	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		9706		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13721		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		771		人
	D: 初診の患者の数		12731		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

#### 12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

佐藤 昌司	大分県立病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
岡村 邦彦	岡村法律相談事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
大嶋 美登子	別府大学		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2
小林 隆志	大分大学医学部		学長が必要と認める者	有	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
  3. その他

### 13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
医学部附属病院のホームページにおいて公表している。	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	局所麻酔下胸腔鏡	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 局所麻酔下で胸腔内へ内視鏡を挿入して観察下に胸膜病変からの病理組織生検を行う			
医療技術名	ロボット支援下胃切除術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 胃癌に対し胃切除術(幽門側胃切除術)が適応となる症例に対し、ロボット支援下に胃切除術(幽門側胃切除術)を施行した。			
医療技術名	縦隔鏡下食道切除術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 食道癌に対し食道亜全摘術が適応となる症例に対し、縦隔鏡下食道亜全摘術を施行した。			
医療技術名	光線力学療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 食道癌に対する根治的放射線療法後の再発/遺残病変に対し、光線力学療法(内視鏡下光線照射)を施行した。			
医療技術名	ロボット支援直腸切除・切断術	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 直腸癌に対し低位前方切除術・切断術が適応となる症例に対し、ロボット支援下に低位前方切除術・切断術を施行した。			
医療技術名	ロボット支援結腸切除術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 結腸癌に対し結腸切除術が適応となる症例に対し、ロボット支援下に結腸切除術を施行した。			
医療技術名	ロボット支援下腎盂形成術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 腎盂尿管移行部狭窄症に対し腎盂形成術が適応となる症例に対し、ロボット支援下に腎盂形成術を施行した。			
医療技術名	ロボット支援下膀胱全摘術	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 浸潤性膀胱癌に対し膀胱全摘術が適応となる症例に対し、ロボット支援下に膀胱全摘術を施行した。			
医療技術名	ロボット支援下腎部分切除術	取扱患者数	31
当該医療技術の概要 局所性腎癌に対し腎部分切除術が適応となる症例に対し、ロボット支援下に腎部分切除術を施行した。			
医療技術名	ロボット支援下胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	取扱患者数	16
当該医療技術の概要 肺葉切除が適応される肺癌症例に対し、ロボット支援下に胸腔鏡下肺葉切除、リンパ節郭清術を行う。			
医療技術名	ロボット支援下胸腔鏡下縦隔腫瘍手術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 縦隔腫瘍症例に対し、ロボット支援下に縦隔腫瘍手術を行う。			



医療技術名	経静脈電極抜去術(経静脈リード抜去術)	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 ペースメーカーや植え込み型除細動器植え込み患者においてこれら体内デバイス機器に感染症を起こした場合、およびリードに伴う血管閉塞がある場合などに静脈リードの抜去を行う。			
医療技術名	完全内視鏡下心臓手術	取扱患者数	25
当該医療技術の概要 3D内視鏡を用いて直視を一切せず内視鏡下のみで行う僧帽弁形成術や大動脈弁置換術			
医療技術名	開窓ステントグラフトを用いた大動脈瘤に対するステントグラフト治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 腹部分枝にかかる大動脈瘤に対して既存グラフトに開窓して行うステントグラフト治療			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	14
取り扱い患者数の合計(人)	160

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	59	先天性副腎皮質酵素欠損症	4
2	筋萎縮性側索硬化症	11	60	サルコイドーシス	70
3	脊髄性筋萎縮症	1	61	特発性間質性肺炎	64
4	進行性核上性麻痺	8	62	肺動脈性肺高血圧症	16
5	パーキンソン病	50	63	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7
6	大脳皮質基底核変性症	6	64	リンパ管筋腫症	7
7	ハンチントン病	3	65	網膜色素変性症	21
8	シャルコー・マリー・トウス病	2	66	バッド・キアリ症候群	2
9	重症筋無力症	55	67	特発性門脈圧亢進症	1
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	63	68	原発性胆汁性胆管炎	5
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	10	69	原発性硬化性胆管炎	1
12	封入体筋炎	3	70	自己免疫性肝炎	28
13	多系統萎縮症	8	71	クローン病	35
14	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	33	72	潰瘍性大腸炎	70
15	ライゾゾーム病	3	73	若年性特発性関節炎	1
16	ミトコンドリア病	5	74	先天性ミオパチー	2
17	もやもや病	8	75	筋ジストロフィー	1
18	進行性多巣性白質脳症	1	76	遺伝性周期性四肢麻痺	1
19	HTLV-1関連脊髄症	2	77	アトピー性脊髄炎	1
20	全身性アミロイドーシス	4	78	脊髄空洞症	1
21	神経線維腫症	8	79	アイザックス症候群	1
22	天疱瘡	3	80	脳表ヘモジリン沈着症	2
23	表皮水疱症	2	81	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1
24	膿疱性乾癬(汎発型)	7	82	前頭側頭葉変性症	3
25	スティーヴンス・ジョンソン症候群	5	83	レノックス・ガストー症候群	2
26	中毒性表皮壊死症	1	84	スタージ・ウェーバー症候群	1
27	高安動脈炎	5	85	結節性硬化症	9
28	巨細胞性動脈炎	10	86	色素性乾皮症	1
29	結節性多発動脈炎	8	87	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	9
30	顕微鏡的多発血管炎	31	88	特発性後天性全身性無汗症	9
31	多発血管炎性肉芽腫症	27	89	マルファン症候群	5
32	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	90	エーラス・ダンロス症候群	1
33	悪性関節リウマチ	12	91	多脾症候群	1
34	パージャール病	4	92	ウェルナー症候群	3
35	全身性エリテマトーデス	239	93	修正大血管転位症	2
36	皮膚筋炎／多発性筋炎	124	94	急速進行性糸球体腎炎	6
37	全身性強皮症	40	95	紫斑病性腎炎	2
38	混合性結合組織病	38	96	オスラー病	8
39	シェーグレン症候群	77	97	肺胞低換気症候群	1
40	成人スチル病	22	98	副甲状腺機能低下症	1
41	再発性多発軟骨炎	5	99	メーブルシロップ尿症	1
42	ベーチェット病	61	100	メチルマロン酸血症	1
43	特発性拡張型心筋症	27	101	尿素サイクル異常症	1
44	肥大型心筋症	12	102	家族性地中海熱	5
45	再生不良性貧血	10	103	強直性脊椎炎	8
46	自己免疫性溶血性貧血	1	104	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
47	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	105	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
48	特発性血小板減少性紫斑病	23	106	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
49	原発性免疫不全症候群	3	107	クリッペル・レノナー・ウェーバー症候群	2
50	IgA腎症	26	108	後天性赤芽球癆	1
51	多発性嚢胞腎	7	109	アラジール症候群	1
52	後縦靭帯骨化症	2	110	IgG4関連疾患	11
53	広範脊柱管狭窄症	4	111	黄斑ジストロフィー	3
54	特発性大腿骨頭壊死症	120	112	レーベル遺伝性視神経症	2
55	下垂体性PRL分泌亢進症	1	113	アッシャー症候群	1
56	クッシング病	6	114	好酸球性副鼻腔炎	51
57	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1	115	ハッチンソン・ギルフォード症候群	1
58	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1			

疾患数	115
合計患者数(人)	1715

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・抗菌薬適正使用支援加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・患者サポート体制充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院診療基本料(一般病棟7対1)	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院診療基本料(精神病棟13対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・後発医薬品使用体制加算2
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・医師事務作業補助体制加算2(20対1補助体制加算)	・データ提出加算2
・急性期看護補助体制加算2(25対1看護補助者5割未満)	・入退院支援加算1、入院時支援加算、地域連携診療計画加算及び総合機能評価加算
・急性期看護補助体制加算の注2のハ(夜間100対1急性期看護補助体制加算)	・認知症ケア加算2
・急性期看護補助体制加算の注3(夜間看護体制加算)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・急性期看護補助体制加算の注4(看護補助体制充実加算)	・精神疾患診療体制加算
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	・精神科急性期医師配置加算2
・看護補助加算2(精神病棟のみ)	・地域医療体制確保加算
・看護補助加算の注4(看護補助体制充実加算)	・救命救急入院料3
・療養環境加算	・救命救急入院料の「注3」に掲げる加算(充実段階評価A)
・重症者等療養環境特別加算	・救命救急入院料の注8(早期離床・リハビリテーション加算)
・無菌治療室管理加算1	・救命救急入院料の注9(早期栄養介入管理加算)
・緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料2
・精神科身体合併症管理加算	・、特定集中治療室管理料の注4(早期離床・リハビリテーション加算)
・精神科リエゾンチーム加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・栄養サポートチーム加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医療安全対策加算1	・小児入院医療管理料2、プレイルーム加算及び養育支援体制加算
・感染対策向上加算1	・看護職員処遇改善評価料71
・感染対策向上加算の注2(指導強化加算)	・
・感染防止対策地域連携加算	・

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・植込型除細動器移行期加算	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・遠隔モニタリング加算	・薬剤管理指導料
・腎代替療法実績加算	・医療機器安全管理料1、2(歯科診療以外)
・喘息治療管理料	・重症患者搬送加算
・糖尿病合併症管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・持続血糖測定器加算(間歇注入インスリンポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料ロ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ハ	・遺伝学的検査
・がん患者指導管理料ニ	・骨髄微小残存病変量測定
・外来緩和ケア管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・移植後患者指導管理料(1.臓器移植後の場合)	・がんゲノムプロファイリング検査
・移植後患者指導管理料(2.造血幹細胞移植後の場合)	・先天性代謝異常症検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・糖尿病透析予防指導管理料の注5(高度腎機能障害患者指導加算)	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・乳腺炎重症化ケア・指導料	・検体検査管理加算(I)
・婦人科特定疾患治療管理料	・検体検査管理加算(IV)
・腎代替療法指導管理料	・国際標準検査管理加算
・一般不妊治療管理料	・遺伝カウンセリング加算
・生殖補助医療管理料2	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・二次性骨折予防継続管理料1、3	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・外来腫瘍化学療法診療料1、連携充実加算	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ニコチン依存症管理料	・胎児心エコー法
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)、(II)	・ヘッドアップティルト試験
・がん治療連携計画策定料	・皮下連続式グルコース測定

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・長期継続頭蓋内脳波検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)及び初期加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)及び初期加算
・神経学的検査	・がん患者リハビリテーション料
・補聴器適合検査	・救急患者精神科継続支援料
・黄斑局所網膜電図、全視野精密網膜電図	・精神科作業療法
・ロービジョン検査判断料	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・コンタクトレンズ検査料1	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・内服・点滴誘発試験	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・センチネルリンパ節生検(片側)	・医療保護入院等診療料
・画像診断管理加算1	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・画像診断管理加算3	・多血小板血漿処置
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)
・CT撮影及びMRI撮影	・導入期加算3
・冠動脈CT撮影加算	・透析液水質確保加算
・外傷全身CT加算	・慢性維持透析濾過加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・血漿交換療法の在り(難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシブ療法)
・心臓MRI撮影加算	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・乳房MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・頭部MRI撮影加算	・処理骨再建加算(四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術)
・全身MRI撮影加算	・処理骨再建加算(骨悪性腫瘍手術)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・外来化学療法加算1	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・無菌製剤処理料	・椎間板内酵素注入療法
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)及び初期加算	・内視鏡下脳腫瘍生検術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)及び初期加算	・内視鏡下脳腫瘍摘出術

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下弁形成術
・内皮移植加算	・経カテーテル大動脈弁置換術
・羊膜移植術	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・経皮的中隔心筋焼灼術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・網膜再建術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換(リードレスペースメーカー)
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・人工中耳植込術	・植込型除細動器移植術,植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・人工内耳植込術,植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・経静脈電極抜去術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・補助人工心臓
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び加算2	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術、胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術、胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を使用した場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除(内視鏡手術用支援機器を使用した場合)、(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を使用した場合)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・内視鏡下筋層切開術	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的冠動脈形成術	・胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)	・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・輸血管管理料Ⅰ
・小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・コーディネート体制充実加算
・結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種クリオプレシピテート作製術
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・レーザー機器加算
・腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を使用した場合)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・同種死体腎移植術	・放射線治療専任加算(歯科診療以外)
・生体腎移植術	・外来放射線治療加算(歯科診療以外)
・尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・高エネルギー放射線治療
・膀胱水圧拡張術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・画像誘導放射線治療加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・画像誘導密封小線源治療加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・病理診断管理加算2
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・歯科口腔リハビリテーション料2





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・LDLアフェレシス療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	8例	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	7
	剖検率(%)	2.6

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補 委	元
細胞膜・血液脳関門通過型A $\beta$ オリゴマーマイクロ抗体による新規PET画像診断の創出	松原 悦朗	神経内科学	4,030,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
天然物様三次元骨格を持つペプチド擬態化合物の分子設計と作用機序	松岡 茂	臨床薬理学	6,110,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
敗血症後認知機能障害に対する時計遺伝子リズム是正を目的とした新たな光療法の開発	小山 淑正	手術部	2,210,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
生体内組織形成術による大血管用分岐弯曲バイオチューブの開発	首藤 敬史	心臓血管外科学	4,940,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
腫瘍局在と臓器ランドマークの術中同時表示しうるAI活用内視鏡手術システムの開発	猪股 雅史	消化器・小児外科学	9,620,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
生体内組織形成術による長期耐久性を有する冠動脈バイパス用人工血管開発	宮本 伸二	心臓血管外科学	8,320,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
一塩基多型及びPTH濃度を基盤とした腎移植患者におけるTAC至適投与方法の開発	大塚 恵理子	薬剤部	470,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
各種hemofilterに対する吸着性を考慮した広域抗菌薬の至適投与方法の確立	甲斐 真己都	薬剤部	460,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
発熱性好中球減少症時の感染症鑑別と予後予測を可能にする新規バイオマーカーの探索	岩男 元志	薬剤部	460,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
アナモレリン投与が消化管ペプチドに与える影響の検討	近藤 望	薬剤部	460,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
レンパチニブの総濃度と遊離型濃度のPKパラメータ比較およびその臨床応用	末繁 嘉朗	薬剤部	470,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
腎不全時のDAP遊離型分率低下に及ぼすアルブミンの質的変動と尿毒症物質の影響	宮城 知佳	薬剤部	470,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
クロスプロテクション効果を利用した新規インフルエンザウイルスワクチンの開発	篠村 夏織	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	480,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
PGE2の挙動に焦点を当てたICI使用後に確認される疼痛増強の機序解明	中尾 優子	薬剤部	410,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
脊髄小脳変性症における姿勢振戦を利用したリハビリテーション治療の探索と開発	井上 航平	リハビリテーション部	470,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会

アナモレリンの治療効果関連因子の探索～グレリン濃度及び薬物動態に着目した検討～	炭本 隆宏	薬剤部	450,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Cardio-oncologyにおいて有用な新規バイオマーカーの探索	市川 裕一郎	薬剤部	460,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
糖尿病性腎症および閉経後骨粗鬆症併発に対する骨吸収阻害薬の治療効果の検討	高瀬 良太	リハビリテーション部	480,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
敗血症後認知機能障害に対する時計遺伝子リズム是正を目的とした新たな光療法の開発	小山 淑正	手術部	1,253,332	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新規治療の確立を目的とした全身性強皮症の血管病変モデルの作製	後藤 瑞生	皮膚科学	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ナノポアシークエンサーを用いた同種造血幹細胞移植後の網羅的ウイルス感染の検出	河野 利恵	腫瘍・血液内科学	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ラット脊椎固定モデルにおけるBMPと抗スクレロシン抗体の相互効果の検討	宮崎 正志	整形外科	650,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
上下気道粘膜免疫における経年的免疫応答動態の解析	平野 隆	耳鼻咽喉科学	780,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
眼感染症・迅速病因診断法の開発ー核酸精製不要・ポータブル型多項目遺伝子検査ー	中野 聡子	眼科学	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Wnt/ $\beta$ -catenin経路を標的とした増殖硝子体網膜症の治療法の開発	木許 賢一	眼科学	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
弾性線維腫の原因遺伝子同定とモデルマウス開発ー病態解明に向けて	藤原 作平	皮膚科学	390,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
発達障がいと合併した小児1型糖尿病児の自立支援プログラムの開発	松田 史佳	小児科学	390,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新規活性物質の創出に向けた天然物活性中心骨格を起点とするタンパク質の機能制御	土川 博史	臨床薬理学	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胆管癌の抗癌剤治療抵抗性に関わる候補分子Clusterinの機能解析と治療応用	村上 和成	消化器内科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
miR-210 TGマウスにおける尿細管上皮増殖の機序解明と腎癌の新規治療法開発	中田 知里	腎泌尿器外科学	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
てんかんにおける神経調節物質・アデノシンの生理的・病理的意義の解明	岡成 和夫	小児科学	650,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
抗炎症光線を用いた癌微小環境制御に基づく新しい大腸癌治療法の開発	平塚 孝宏	消化器・小児外科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

膵IPMNの代謝変化の解明による悪性化のバイオマーカーおよび新規治療標的の同定	平下 禎二郎	消化器・小児外科学	390,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
蛍光蛋白質導入レオウイルスを用いた診断治療一体型ナビゲーション手術の開発	衛藤 剛	消化器・小児外科学	520,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肺癌の遺伝子多様性に基づく新規治療法の開発	杉尾 賢二	呼吸器・乳腺外科学	650,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
周術期合併症に関する予測因子の基礎的検討-スピンメタボロミクス臨床応用	新宮 千尋	手術部	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
術中臓器傷害の早期検出を目指した呼気中揮発性有機化合物のリアルタイム測定法の確立	松本 重清	麻酔科学	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新たな近位超音波ガイド下閉鎖神経ブロック法の開発と磁気刺激による筋電図評価の検証	内野 哲哉	麻酔科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
局所麻酔薬は抗酸化作用をもつか？それとも増強作用をもつか？	北野 敬明	麻酔科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
急性腎傷害患者に対する持続的腎代替療法の終了基準の模索	安部 隆国	麻酔科学	130,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心停止・心停止後症候群における酸化ストレス評価と治療介入の検討	重光 修	救急医学	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
リアルタイムモニタリングによる効果的水素療法を検討	古賀 寛教	集中治療部	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ユースング肉腫におけるマイクロRNAとDNA修復機構の治療抵抗性獲得への関与	河野 正典	整形外科	1,690,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
miR-132をバイオマーカーとした子宮内膜症の早期診断・治療介入の構築	甲斐 健太郎	産科婦人科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
子宮内膜症の癒痕形成メカニズムの解明と薬物療法の開発	奈須 家栄	産科婦人科学	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害による上気道粘膜免疫応答賦活化	鈴木 正志	耳鼻咽喉科学	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
3次元癌微小環境モデルを用いた口腔癌の低酸素環境による悪性形質亢進機序の解明	河野 憲司	歯科口腔外科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
神経系細胞の増殖を活性化させるための磁気の制御方法、及び脳・運動機能再建システム	藤木 稔	脳神経外科学	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肥満外科治療による脳内の摂食エネルギー代謝調節因子の解析	正木 孝幸	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学	650,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

25年間の大分市学童検診データを用いた成人生活習慣病予測法の開発	前田 美和子	小児科学	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ホーン型ESRによるアルツハイマー病血液バイオマーカーの検出	上田 徹	脳神経外科学	130,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
抗菌ペプチドSLPIの腸管における機能解析と大建中湯の腸炎保護作用の解明	小坂 聡太郎	消化器内科学	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
持続的腎代替療法を加味した集中治療域における抗感染症薬の母集団薬物動態解析	田中 遼大	薬剤部	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
プロトンポンプ阻害薬関連胃底腺ポリープとdysplasiaの発生机序に関する検討	福田 昌英	消化器内科学	520,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
小児・AYA世代AMLにおけるヒストン修飾に着目した予後因子の確立と治療開発	後藤 洋徳	小児科学	650,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
小児がん患者の抗腫瘍薬による致死性不整脈の早期検出法の確立	武口 真広	小児科学	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胃の膵上皮化生の発生活メカニズムの解明	和田 康宏	消化器内科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ゲノム編集マウスを用いたケモカインCCL20の炎症性腸疾患における役割の解明	有木 晋平	消化器内科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
選択的Wnt/ $\beta$ -catenin/CBPシグナル阻害による炎症性皮膚疾患の制御	広瀬 晴奈	皮膚科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ラット大腿骨骨欠損モデルにおけるカーボンナノチューブによる骨癒合促進の試み	金崎 彰三	高度救命救急センター	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
インフルエンザ菌性慢性中耳炎マウスにおける免疫応答とTLR4の関与	松永 崇志	耳鼻咽喉科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
RNA代謝異常による遺伝性網膜変性症の疾患モデル作製と発症機序の解明	八塚 洋之	眼科学	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
難治性心房細動患者の血液成分を器官培養法に応用した線維化機序解明法の構築	福井 暁	循環器内科・臨床検査診断学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心外膜脂肪の遺伝子及び分泌因子解析による術後心房細動の発症機序解明と抑制剤開発	原田 泰輔	循環器内科・臨床検査診断学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
洞房結節線維化を引き起こす病態メカニズムの解明とその進展を予防する治療の開発	篠原 徹二	循環器内科・臨床検査診断学	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
オルガノイド樹立による大腸粘液癌の病態解明と治療標的の同定	赤木 智徳	消化器・小児外科学	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

人工知能を活用した術中イメージングによる新たな胆嚢癌術中深達度診断法の確立	中沼 寛明	消化器・小児外科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
認知症患者のピロリ菌CagA抗体陽性率の検討	塩田 星児	総合診療・総合内科学	1,690,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
持続性心房細動アブレーション後の再発予測における圧受容体反射の有用性検証	三好 美帆	循環器内科・臨床検査診断学	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
うつ病から双極性障害を経て認知症に進展する一群におけるGSK-3遺伝子多型の関与	寺尾 岳	精神神経医学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ゼブラフィッシュを用いた遠位尿管アシドーシスに伴う難聴発症のメカニズム解明	池内 真代	小児科学	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
網羅的代謝物解析によるSGA児の新たな発達予測因子の探求	関口 和人	小児科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新規PIK3CD遺伝子変異によるSLE発症機構を解明する	清田 今日子	小児科学	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
小児AYA世代のがん経験者や家族の知的・身体的レジリエンスを評価・支援する研究	末延 聡一	小児科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
特発性肺線維症におけるメタボローム解析の臨床応用	濡木 真一	呼吸器・感染症内科学	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
緑膿菌線毛蛋白DNAと樹状細胞リガンドDNAワクチンによる緑膿菌肺炎制御の可能性	平松 和史	医療安全管理部	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
放射線性皮膚炎に対するαリポ酸誘導体を用いた新規治療法の開発	河野 洋平	高度救命救急センター	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
光バイオプシー技術を用いたヒルシユスプルング病の術中リアルタイム診断法の開発	小川 雄大	消化器・小児外科学	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胃癌腹膜播種に対するパルスレーザーを用いた新規光線療法の開発	白下 英史	消化器・小児外科学	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
非小細胞肺癌におけるドライバー遺伝子と細胞周期関連遺伝子を標的とした治療開発	小副川 敦	呼吸器・乳腺外科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
くも膜下出血の病態を制御するIL-23の機能解明と新規治療法の開発	阿南 光洋	脳神経外科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ゲノム編集によるsyngeneic系を用いた(肉腫型)転座発がんのメカニズム解明	田仲 和宏	リハビリテーション部	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ANCA関連血管炎性中耳炎の中耳貯留液を用いた早期診断法の開発	立山 香織	耳鼻咽喉科学	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

M2タンパクと複合アジュバントを用いた新たなインフルエンザウイルスワクチン戦略	川野 利明	耳鼻咽喉科学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
傷あと診断用人工知能の開発	清水 史明	形成外科	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自発運動(GMs)評価精度向上と実践体制構築を可能とする評価訓練システムの開発	前田 知己	小児科学	650,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肥満に伴う新型コロナウイルス感染の重症化に対するACE2の有用性	後藤 孔郎	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心外膜脂肪の質を評価する新たな画像診断による心房細動ハイリスク患者検出	石井 悠海	循環器内科・臨床検査診断学	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
食道がん予後改善のためのラマン分光分析に基づく反回神経術中同定法の開発	柴田 智隆	高度救命救急センター	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心外膜前駆脂肪細胞の分化誘導による量と質の制御～心房細動の新たな治療戦略～	安部 一太郎	循環器内科・臨床検査診断学	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
日本人肥満症患者における肥満外科手術後の代謝疾患、体組成、内分泌変化の関連	尾関 良則	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学	260,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
門脈系IVRにおける細径システムでの新たな門脈アプローチ法の開発	丸野 美由希	放射線医学	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
非小細胞肺癌における所属リンパ節内血管新生の検討	安部 美幸	呼吸器・乳腺外科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
外尿道括約筋におけるdecorinの機能解析と治療標的としての意義	篠原 麻由香	腎泌尿器外科学	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心外膜脂肪の線維化を検出し心房細動ハイリスク患者を同定するCT画像診断法	高橋 尚彦	循環器内科・臨床検査診断学	2,730,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
人工知能(AI)を利用した急性心筋梗塞患者の緊急搬送判断プログラムの確立	油布 邦夫	循環器内科・臨床検査診断	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心不全患者における無自覚低血糖の発生実態の解明と新規心不全治療戦略としての応用	手嶋 泰之	検査部	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
抗Aβオリゴマー最小フラグメント化抗体の臨床応用に向けた薬効解明と製剤開発	藪内 健一	神経内科学	1,950,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心臓リハビリテーションによる骨格筋由来マイオカイン発現制御機構の解明	藤浪 麻美	循環器内科・臨床検査診断学	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
フェージディスプレイ法による腎移植後のBKウイルス腎症に対する治療抗体の作成	安藤 忠助	腎臓外科・泌尿器科	1,690,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

アトピー性皮膚炎患者に生じる炎症と骨異常の予防戦略開発:RANKLを標的として	酒井 貴史	皮膚科学	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
アルツハイマー病におけるNVU障害および神経炎症を基盤とした病態進行機構の解明	木村 成志	神経内科学	520,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
消化管癌におけるSarcoid-like reaction発現による新規治療戦略	上田 貴威	総合外科・地域連携学	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
尿中ポドサイトマーカを用いた糖尿病性腎症重症化予測スコアリングシステムの開発	福田 顕弘	腎臓内科	520,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
長時間睡眠が脳機能低下を引き起こす病態機構の解明	花岡 拓哉	神経内科学	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
血管炎症候群の重症度および予後を反映する有用な新規バイオマーカーの開発	伊東 弘樹	薬剤部	2,730,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新生児スクリーニング偽陽性例に潜因する飢餓の発育への影響:母乳育児支援体制の構築	島田 祐美	小児科	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
レミゾラムが体内時計と認知機能に与える影響の検討	小坂 麻里子	麻酔科	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
外尿道括約筋のミトファジー活性化による新規尿失禁治療法の開発	三股 浩光	腎泌尿器外科学	2,080,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
尿失禁に対する新規再生医療の開発へ向けた外尿道括約筋幹細胞セクレトームの機能解析	秦 聡孝	腎泌尿器外科学	2,080,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
内臓脂肪の遺伝子プロファイル解析による肥満心筋症の進展機序解明	齋藤 聖多郎	高度救命救急センター	2,340,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
薬物クリアランスを行う臓器としての新たな肺の生理的役割の解明	大谷 直由	臨床薬理学	1,690,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
SGLT2阻害薬による心外膜脂肪への効果とその機序解明	高野 正幸	循環器内科	1,690,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ブルガダ症候群患者のCT画像解析:心外膜脂肪が右室流出路の器質的変化をもたらすか	米津 圭佑	循環器内科	2,080,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
急性期脳梗塞における新たなimaging biomarkerの創出	徳山 耕平	放射線科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
髄膜腫微小環境におけるSiglec-15を標的とした治療開発	札幌 博貴	脳神経外科学	780,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
miR-30/miR-210比を用いた潜在性子宮内膜症の診断に関する基礎研究	青柳 陽子	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会



乳児肝不全症候群1型における乳児期重症化と発熱時増悪因子の解明	井上 真紀	小児科	2,080,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
卒前ハイブリッド型ポリ ファーマシー医学教育プ ログラムの構築	関口 愛	臨床薬理学	1,950,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
子宮内膜症において発現 が減少しているmiR-199a- 3pの役割に関する研究	岡本 真実子	産科婦人科	3,120,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
タンパク質メチル化修飾に 基づく除菌後胃癌発生危 険因子の同定と発生メカ ニズムの解明	平下 有香	内分泌代謝・膠原病・ 腎臓内科学	1,950,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
子宮体癌における免疫組 織化学的パネルを用いた 予後予測と再分類	矢野 光剛	産科婦人科学	1,690,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
血液脳関門通過型細胞内 抗体によるコンフォメーシ ョン病の触媒医療への挑戦	松原 悦朗	神経内科学	3,250,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
ウェアラブル端末による小 児AYA世代がん患者のメ ンタルヘルス向上のため の探索的研究	小宅 桃子	小児科学	1,170,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興 会
炎症性腸疾患および肝炎 の病態形成におけるケモ カインMIP-1 $\gamma$ の役割	鹿子嶋 洋明	消化器内科	1,430,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
ECPR症例における神経 学的予後予測バイオマー カーの網羅的探索	安部 隆三	救急医学	1,170,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
アストロサイトを起点とした 多発性硬化症の分子レベ ルでの病態解明	伊藤 教道	薬剤学	1,560,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
FAPの新規疾患修飾療法 を最大限活かすサロゲート マーカーと発症予兆検知 指標の確立	増田 曜章	脳神経内科	910,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
肝線維化改善効果評価法 の確立のための基礎検討	原 和冴	検査部	1,560,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
ヒト子宮内膜着床期におけ る胚受容能の獲得と着床 関連分子発現調節に関す る研究	後藤 香里	産科婦人科学	1,820,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
アトピー性皮膚炎患者に 生じる炎症と骨異常の予 防戦略開発:RANKLを標 的として	酒井 貴史	皮膚科学	5,000,000	補 委	公益財団法人 マルホ・高木 皮膚科学振興 財団
アトピー性皮膚炎における 循環脂質異常の病態意 義:角層脂質異常との関 連を含めて	酒井 貴史	皮膚科学	1,000,000	補 委	公益社団法人 日本皮膚科学 会
大豆摂取による腸内細菌 の二次代謝産物を介した 認知症予防に関する検討	後藤 孔郎	内分泌代謝・膠原病・ 腎臓内科学	1,000,000	補 委	公益財団法人 不二たん白質 研究振興財団
新型コロナウイルス感染症 の重症化に対する塩分制 限の有用性	後藤 孔郎	内分泌代謝・膠原病・ 腎臓内科学	1,100,000	補 委	公益財団法人 ソルト・サイエ ンス研究財団

LARS1遺伝子改変ノックインゼブラフィッシュ・ノックインマウスを用いた乳児肝不全症候群1型の病態分	井上 真紀	小児科学	1,000,000	補委	公益財団法人 川野小児医学 奨学財団
エネルギー代謝調節に関わる新規脳内因子による食嗜好制御メカニズムの解明	鹿野 健史朗	神経生理学	1,000,000	補委	公益財団法人 三島海雲記念 財団
ミネラルコルチコイド(MR)活性化による糖尿病性腎症進展機序の解明とMR活性化を反映する尿中パイ	福田 顕弘	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学	2,000,000	補委	公益財団法人 武田科学振興 財団
「医師と患者をつないで病気を治す」次世代の心不全投薬最適化DXツールの開発	林 宏祐	臨床薬理学	1,000,000	補委	公益財団法人 大和証券ヘル ス財団
誤嚥リスクを有する高齢者の肺炎における抗菌薬適正使用指針作成の試み	小宮 幸作	呼吸器・感染症内科学	700,000	補委	公益財団法人 大和証券ヘル ス財団
エリンギによる腸内細菌の二次代謝産物を介した認知症予防に関する検討	後藤 孔郎	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学	500,000	補委	公益財団法人 ホクト生物科学振興財団
ミネラルコルチコイド受容体(MR)活性化による糸球体肥大を介した糖尿病性腎症進展機序の解明	福田 顕弘	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学	900,000	補委	公益財団法人 日本糖尿病財 団
腎性貧血によるボドサイト障害とHIF-PH阻害薬の多面的腎保護効果の検討	福田 顕弘	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学	300,000	補委	公益財団法人 日本腎臓財団
新規視床下部因子による食嗜好性制御メカニズムの解明	鹿野 健史朗	神経生理学	1,000,000	補委	公益財団法人 ロッテ財団
卵巣明細胞癌におけるHippo経路を介したHDAC6阻害剤の有効性	矢野 光剛	産科婦人科学	2,000,000	補委	公益財団法人 神澤医学研究 振興財団
ナノポアシークエンサーによる造血幹細胞移植後の網羅的感染症検出(継続)	河野 利恵	腫瘍・血液内科学	380,000	補委	公益財団法人 大分がん研究 振興財団
造血幹細胞移植による筋肉量の変化について	諸鹿 柚衣	腫瘍・血液内科学	380,000	補委	公益財団法人 大分がん研究 振興財団
県内産婦人科にてHIV-1キャリアと診断された妊婦における産後の本人と児のフォロー体制の実態調査	高野 久仁子	腫瘍・血液内科学	380,000	補委	公益財団法人 大分がん研究 振興財団
hERGチャネルの変異体分子構造に依存するIkr電流異常度の層別化	糸 慎一郎	病態生理学	2,000,000	補委	公益財団法人 鈴木謙三記念 医学応用研究 財団
フルクトース摂取による腸内細菌の二次代謝産物を介した認知症予防に関する検討	後藤 孔郎	内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学	1,000,000	補委	公益社団法人 糖業協会
胃癌に対する内視鏡治療および内視鏡外科手術の治療成績～日本とタイとの比較検討～	猪股 雅史	消化器・小児外科学	450,000	補委	公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

大脳駆動型および小脳駆動型運動学習におけるVRから実環境への運動学習転移	竹尾 雄飛	リハビリテーション部	1,326,000	補 委	公益財団法人立石科学技術振興財団
--------------------------------------	-------	------------	-----------	--------	------------------

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nishida H, Kondo Y, Kusaba T, 他	病理診断科	Immunohistochemical reactivity of prostate- specific membrane antigen in salivary gland tumors	Head Neck Pathol 2022 6	Original Article
2	Nishida H, Shinohara M, Kondo Y, 他	病理診断科	Intestinal-type adenocarcinoma in the bilateral renal pelvis and right ureter synchronously arising in a patient with an ileal conduit	Pathology International 2022 5	Case report
3	Zaitso K, Nishida H, Kondo Y, 他	病理診断科	Micronodular thymic carcinoma with lymphoid stroma : a case report	Int J Surg Pathol 2022 10	Case report
4	Nishida H, Kondo Y, Kusaba T, 他	病理診断科	Eosinophilic, polymorphic and pruritic eruption following radiotherapy for Hodgkin lymphoma	Eur J Dermatol 2022 11	Case report
5	Nishida H, Kondo Y, Kusaba T, 他	病理診断科	CD8/PD-L1 immunohistochemical reactivity and gene alterations in cutaneous squamous cell carcinoma	PLOS ONE 2023 2	Original Article
6	Nishida H, Kusaba T, Kawamura K, 他	病理診断科	Histopathological aspects of the prognostic factors for salivary gland cancers	Cancers 2023 2	Review
7	Yamamoto K, Shiota S, Yoshiiwa A, 他	総合内科・総合診療科	Cognitive Function and Olfactory Impairment in Community-Dwelling Older Adults Attending a Salon	Journal of Primary Care & Community Health 2022 8	Original Article

8	Shiota S, Horinouchi Y, Doi E, 他	総合内科・総合診療科	Suspicion of pulmonary embolism after COVID-19 infection raised by a smartwatch.	QJM 2022 9	Case report
9	Shiota S, Horinouchi N, Eto Y, 他	総合内科・総合診療科	Positive Rate and Utility of Blood Culture among Nursing and Healthcare-associated Pneumonia Inpatients: A Cross-sectional Study.	Intern Med 2023 1	Original Article
10	Goto R, Shiota S, Kaimori R, 他	総合内科・総合診療科	Disseminated nontuberculous mycobacterial infection in a patient with idiopathic CD4 lymphocytopenia and IFN- $\gamma$ neutralizing antibodies: a case report.	BMC Infect Dis. 2023 1	Case report
11	Kiyonaga Y, Nakao S, To K, 他	膠原病内科	Kikuchi-Fujimoto Disease with Histiocyte-Dominant Synovial Fluid: A Case Report	臨床リウマチ 2022 6	Case report
12	Ozaki T, Kamiyama N, Saechue B, 他	膠原病内科	Comprehensive lipidomics of lupus-prone mice using LC-MS/MS identifies the reduction of palmitoylethanolamide that suppresses TLR9-mediated inflammation	Genes Cells. 2022 7	Original Article
13	Takase R, Nakata T, Aoki K, 他	腎臓内科	The Relationship Between Edema and Body Functions in Patients With Chronic Kidney Disease: A Preliminary Study.	Cureus 2022 7	Original Article
14	Yoshida Y, Fujiki R, Kinoshita M, 他	内分泌・糖尿病内科	Importance of dietary salt restriction for patients with primary aldosteronism during treatment with mineralocorticoid receptor antagonists: The potential importance of post-treatment plasma renin levels	Hypertens Res. 2023 1	Original Article
15	Miyamoto S, Yoshida Y, Ozeki Y, 他	内分泌・糖尿病内科	Pitfalls in the diagnosis and treatment of a hypertensive patient with unilateral primary aldosteronism and contralateral pheochromocytoma: a case report	BMC Endocr Disord. 2023 2	Case report
16	Yoshida Y, Shibata H.	内分泌・糖尿病内科	Visceral fat: a bad companion for mineralocorticoid receptor overactivation	Hypertens Res.2023 3	Review

17	Shibata H.	内分泌・糖尿病内科	Adrenal ablation therapy for unilateral primary aldosteronism: pros and cons	Hypertens Res.2023 3	Review
18	Ozeki Y, Masaki T, Kamata A, 他	内分泌・糖尿病内科	The Effectiveness of GLP-1 Receptor Agonist Semaglutide on Body Composition in Elderly Obese Diabetic Patients: A Pilot Study	Medicines (Basel). 2022 9	Original Article
19	Sada K, Hidaka S, Takemaru M, 他	内分泌・糖尿病内科	A case of polyneuropathy associated with diabetic ketoacidosis in new-onset type 1 diabetes	J Diabetes Investig. 2022 5	Case report
20	Sada K, Hidaka S, Kashima J, 他	内分泌・糖尿病内科	Renoprotective effect of additional sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor therapy in type 2 diabetes patients with rapid decline and preserved renal function	J Diabetes Investig. 2022 8	Original Article
21	Yamatani I, Komiya K, Shuto H, 他	呼吸器・感染症内科	Correlation between tuberculosis-specific interferon- $\gamma$ release assay and intrathoracic calcification: A cross-sectional study	PLOS ONE 2022 7	Original Article
22	Komiya K, Yoshikawa H, Goto A, 他	呼吸器・感染症内科	Radiological patterns and prognosis in elderly patients with acute Klebsiella pneumoniae pneumonia A retrospective study.	Medicine (Baltimore) 2022 8	Original Article
23	Goto A, Komiya K, Yamasue M, 他	呼吸器・感染症内科	Methicillin-resistant Staphylococcus aureus among elderly patients with community-acquired pneumonia.	J Infect Chemother. 2022 8	Original Article
24	Komiya K, Hiramatsu K, Kadota J	呼吸器・感染症内科	Do Large Ears Have an Advantage in Preventing Airborne Transmission?	Cureus 2022 10	Case report
25	Masui R, Komiya K, Tanaka A, 他	呼吸器・感染症内科	intravenous acetaminophen-induced non-anaphylactic shock in an older patient with COVID-19	Geriatr Gerontol Int. 2022 10	Case report
26	Hirota S, Komiya K, Takeno Y, 他	呼吸器・感染症内科	Mycobacterium avium Complex Lung Disease Complicated With Antiglomerular Basement Membrane Disease	Intern Med2022 12	Case report

27	Matsumoto H, Komiya K, Ichihara S, 他	呼吸器・感染症内科	Factors Associated with Extended-spectrum $\beta$ -lactamase-producing Enterobacteria Isolated from Respiratory Samples	Intern Med.2022 12	Original Article
28	Ichihara S, Komiya K, Yamatani I, 他	呼吸器・感染症内科	Acute eosinophilic pneumonia in twins.	Respir Investig.2023 1	Case report
29	Takaki R, Komiya K, Fujishima N, 他	呼吸器・感染症内科	Pneumocystis Pneumonia With Multiple Centrilobular Pulmonary Nodules and Lack of Ground-Glass Attenuation on High-Resolution Computed Tomography.	.Cureus..2023 2	Case report
30	Kudoh R, Komiya K, Shinohara A, 他	呼吸器・感染症内科	Marital status and post-COVID-19 conditions.	Respir Investig.2023 3	Original Article
31	Mizukami T, Masuda T, Kimura N, 他	脳神経内科	Cerebrospinal Fluid Interleukin-6 in Immune Checkpoint Inhibitor-Induced Autoimmune Meningoencephalitis.	Tohoku J Exp Med. 2022 9	Original Article
32	Goto M, Kimura N, Matsubara E.	脳神経内科	Association of serum thyroid hormone levels with positron emission tomography imaging in non-demented older adults.	Psychogeriatrics.2022 5	Original Article
33	Yamashita H, Sakai A, Terao T.	精神科	Effects of a rework program in a university hospital and predictors of work restoration and maintenance in the participants.	Front Psychiatry.2022 7	Original Article
34	Muronaga M, Terao T, Kohno K, 他	精神科	Lithium in Drinking Water and Alzheimer's Dementia: Epidemiological Findings from National Data Base of Japan.	Bipolar Disord.2022 12	Original Article
35	Izumi T, Kanehisa M, Terao T, 他	精神科	Naturally absorbed lithium may prevent suicide attempts and deliberate self-harm while eicosapentaenoic acid may prevent deliberate self-harm and arachidonic acid may be a risk factor for deliberate self-harm: The updated different findings in new analyses.	Front Psychiatry.2022 12	Original Article

36	Hirakawa H, Terao T.	精神科	Impact of climate factors, especially temperature and relative humidity on mood fluctuations in bipolar spectrum disorder.	Bipolar Disord.2022 5	Case report
37	Hirakawa H, Terao T, Muronaga M.	精神科	Successful treatment using combined monthly maintenance electroconvulsive therapy and monthly long-acting injection paliperidone for treatment-resistant schizophrenia with vulnerability to clozapine: A case report.	Psychiatry Clin Neurosci.2022 10	Case report
38	Terao T, Kumari V.	精神科	Editorial: Insights in Psychological Therapies: 2021.	Front Psychiatry.2022 4	Others
39	Terao T.	精神科	Latent bipolar depression.	Lancet.2023 1	Others
40	Okawa Y, Ihara K	小児科	Sensorineural hearing loss in Sjögren's Syndrome	Int. J. Mol. Sci.2022 9	Review
41	Nishibayashi H, Kishimoto S, Sekiguchi K, 他	小児科	Myocarditis in 13-Year-Old Monozygotic Twin After COVID-19 Vaccination	J Clin Immunol 2022 10	Case report
42	Kimura Y, Kiyota K, Ikeuchi M, 他	小児科	Rituximab-induced serum sickness in a girl with nephrotic syndrome.	CEN Case Rep.2022 11	Case report
43	Maeda M, Maeda T, Ihara K.	小児科	Secular Trends in Obesity and Serum Lipid Values among Children in Oita City, Japan, during a 27-Year Period	J Atheroscler Thromb 2022 12	Original Article
44	Maeda T, Kobayashi O, Eto E, 他	小児科	Short internal pancreatic stent reduces pancreatic fistula in pancreatoduodenectomy	Children (Basel) 2022 12	Original Article
45	Etoh M, Itonaga T, Oguri S, 他	小児科	A Seven-Year-Old Girl With Dysphagia Due to Fear of Swallowing: A Favorable Outcome With Cognitive Behavioral Therapy Using an Anxiety Hierarchy Chart	Cureus 2022 12	Case report



46	Itonaga T, Hasegawa Y, Higuchi S, 他	小児科	Knowns and unknowns about congenital hypothyroidism: 2022 update	Clin Pediatr Endocrinol 2023 1	Review
47	Itonaga T, Hasegawa Y.	小児科	Monitoring treatment in pediatric patients with 21-hydroxylase deficiency	Front Endocrinol 2023 2	Review
48	Shuto M, Hirano N, Oguri S, 他	小児科	Acute myeloid leukemia associated with CHARGE syndrome.	Am J Med Genet A 2023 3	Case report
49	Tamai T, Ihara K	小児科	Celiac Disease Genetics, Pathogenesis and Standard Therapy for Japanese Patients	Int. J. Mol. Sci. 2023 3	Review
50	Hiratsuka T, Inomata M	消化器外科	A novel animal model of colonic stenosis to aid the development of new stents for colon strictures	Surg Endosc 2022 5	Case report
51	Shiroshita H, Inomata M, Akira S, 他	消化器外科	Current Status of Endoscopic Surgery in Japan: The 15th National Survey of Endoscopic Surgery by the Japan Society for Endoscopic Surgery	Asian J Endosc Surg 2022 4	Case report
52	Fujinaga A, Ohta M, Yuichi Endo, 他	消化器外科	Changes of Short-chain Fatty Acids and Their Receptors in an Obese Rat Model after Sleeve Gastrectomy	Obes Surg 2022 8	Case report
53	Masuda T, Endo Y, Amano S, 他	消化器外科	Risk factors of unplanned intraoperative conversion to hand-assisted laparoscopic surgery or open surgery in laparoscopic liver resection	Langenbecks Arch Surg 2022 8	Case report
54	Fujinaga A, Hirashita T, Iwashita Y, 他	消化器外科	An additional port in difficult laparoscopic cholecystectomy for surgical safety	Asian J Endosc Surg 2022 10	Case report
55	Ohta M, Ahn SM, Seki Y, 他	消化器外科	Ten years of change in bariatric/metabolic surgery in the Asia-Pacific region with COVID-19 pandemic: IFSO-APC national reports 2021	Obes Surg 2022 9	Case report

56	Akagi T, Suzuki K, Kono Y, 他	消化器外科	Success rate of acquiring informed consent and barriers to participation in a randomized controlled trial of laparoscopic versus open surgery for non-curative stage IV colon cancer in Japan (JCOG1107).	Jpn J Clin Oncol 2022 11	Case report
57	Akagi T, Nakashima K, Hirano Y, 他	消化器外科	Laparoscopic versus open resection for stage II/III rectal cancer in obese patients: A multicenter propensity score-based analysis of short- and long-term outcomes	Ann Gastroenterol Surg 2022 7	Case report
58	Ishida S, Hirashita T, Kawano Y, 他	消化器外科	Pancreas-preserving partial duodenectomy for non-ampullary duodenal neoplasms: Three case reports	Surg Case Rep 2022 9	Case report
59	Fujita S, Etoh T, Kono Y, 他	消化器外科	Laparoscopic distal gastrectomy for advanced gastric cancer with situs inversus totalis: a case report	Surg Case Rep 2022 9	Case report
60	Oyama T, Akagi T, Etoh T, 他	消化器外科	Intussusception in the ascending colon caused by cecal chronic diverticulitis: a case report	J Surg Case Rep 2022 5	Case report
61	Kono Y, Inomata M, Sumi Y, 他	消化器外科	A multicenter survey of effects and challenges of an 8K ultra-high-definition endoscopy system compared to existing endoscopy systems for endoscopic surgery	Asian J Endosc Surg 2023 1	Original Article
62	Aiba T, Kono Y, Etoh T, 他	消化器外科	Efficacy of cooling therapy and $\alpha$ -lipoic acid derivative against chemotherapy-induced alopecia in an animal model in Cancer Science has the following publication status	Cancer Sci 2023 3	Original Article
63	Nakanuma H, Endo Y, Fujinaga A, 他	消化器外科	An intraoperative artificial intelligence system identifying anatomical landmarks for laparoscopic cholecystectomy: a prospective clinical feasibility trial (J-SUMMIT-C-01)	Surg Endosc 2023 3	Original Article

64	Ogawa K, Ieiri S, Watanabe T, 他	小児外科	Encouraging Young Pediatric Surgeons and Evaluation of the Effectiveness of a Pediatric Endosurgery Workshop by Self-Assessment and an Objective Skill Validation System	J Laparoendosc Adv Surg Tech A 2022 12	Original Article
65	Oyama Y Walker LA Eckle T 他	小児外科	Development of an oncolytic mammalian orthoreovirus expressing the near-infrared fluorescent protein iRFP720	J Virol Methods 2022 10	Original Article
66	Hongo N Kiyosue H Ota S 他	呼吸器外科	MET kinase inhibitor reverses resistance to entrectinib induced by hepatocyte growth factor in tumors with NTRK1 or ROS1 rearrangements.	Cancer Med. 2023 3	Original Article
67	Noda D, Yokoyama S, Setojima S, 他	呼吸器外科	Thoracoscopic Right Lower Lobectomy in a Patient With a Common Trunk of the Right Pulmonary Veins.	Annals of Thoracic Surgery Short Reports 2023 3	Case report
68	Miyawaki M, Ogawa K, Kamada K, 他	呼吸器外科	Tracheal injury from dog bite in a child.	J Cardiovascular Surg 2023 1	Case report
69	Sako N, Kaku N, Kitahara Y, 他	整形外科	Three-Dimensional Evaluation of Innominate Bone Rotation in Female Patients with Developmental Dysplasia of the Hip	Clin Orthop Surg 2022 6	Original Article
70	Kaku N, Shimada T, Hosoyama T, 他	整形外科	Microvascular system of hip joint constituents with special reference to ultrastructural findings and early arteriosclerosis	Med Mol Morphol 2022 6	Original Article
71	Ikeda S, Kaku N, Hosoyama T, 他	整形外科	Survival rates of different bearing surfaces with the same model of stem in total hip arthroplasty: predictive factors for revision surgery	Arch Orthop Trauma Surg 2022 11	Original Article
72	Tagomori H, Kaku N, Sato S, 他	整形外科	Contemporaneous Insufficiency Fractures of Bilateral Femoral Necks in an Older Patient Taking Bisphosphonate: A Case Report and Literature Review	Case Rep Orthop 2022 4	Case report
73	Kubota Y, Tanaka K, Kawano M, 他	整形外科	Surrogacy analysis of intermediate end-points for overall survival in randomized controlled trials of rhabdomyosarcoma	Sci Rep 2022 11	Original Article

74	Kubota Y, Tanaka K, Hirakawa M, 他	整形外科	Patellar dislocation following distal femoral replacement after extra-articular knee resection for bone sarcoma: A case report	World J Clin Cases 2022 4	Case report
75	Miyazaki M, Ishihara T, Abe T, 他	整形外科	Analysis of treatment effect with teriparatide on device-related vertebral osteopenia after lumbar spinal interbody fusion using Hounsfield unit values: A retrospective cohort study	Medicine (Baltimore) 2022 9	Original Article
76	Abe T, Miyazaki M, Ishihara T, 他	整形外科	Analysis of the risk factors for increasing cervical sagittal vertical axis after cervical laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy	Arch Orthop Trauma Surg 2022 4	Original Article
77	Miyazaki M, Ishihara T, Kanezaki S, 他	整形外科	Relationship between K-line distance and surgical outcome in cases of laminoplasty for cervical ossification of the posterior longitudinal ligament	Medicine (Baltimore) 2022 11	Original Article
78	Abe T, Miyazaki M, Kanezaki S, 他	整形外科	Analysis of rotational deformity correction by lateral lumbar interbody fusion with two-staged anterior-posterior combined corrective fusion surgery for adult degenerative kyphoscoliosis	Medicine (Baltimore) 2022 9	Original Article
79	Narita Y, Miyazaki M, Hirakawa M, 他	整形外科	Heat-Treated Osteochondral Allograft and Autologous Chondrocyte Implantation for a Large Osteochondral Defect: A Case Report	JBJS Case Connect 2022 8	Case report
80	Tanaka K, Suzuki K, Miyashita K, 他	整形外科	Activation of recombinational repair in Ewing sarcoma cells carrying EWS-FLI1 fusion gene by chromosome translocation	Sci Rep 2022 8	Original Article
81	Tanaka K, Machida R, Kawai A, 他	整形外科	Perioperative Adriamycin plus ifosfamide vs. gemcitabine plus docetaxel for high-risk soft tissue sarcomas: randomised, phase II/III study JCOG1306	Br J Cancer 2022 11	Original Article

82	Miyazaki M, Ishihara T, Abe T, 他	整形外科	Effectiveness of gelatin matrix with human thrombin for reducing blood loss in palliative decompressive surgery with posterior spinal fusion for metastatic spinal tumors	J Orthop Sci 2023 1	Original Article
83	Kaku N, Hosoyama T, Shibuta Y, 他	整形外科	Influence of femoral bowing on stress distribution of the proximal femur: a three-dimensional finite element analysis	J Orthop Surg Res 2023 2	Original Article
84	Hosoyama T, Kaku N, Tagomori H, 他	整形外科	Relationship between perceived and structural leg length discrepancies of patients with hip osteoarthritis dysplasia	Orthop Traumatol Surg Res 2023 2	Original Article
85	Ando T, Nakashima S, Abe S,	腎臓外科・泌尿器科	Mamushi bites in a kidney transplant recipient: A case report.	IJU Case Rep. 2022 5	Case report
86	Hata S, Nakashima S, Shinohara M, 他	腎臓外科・泌尿器科	A Rare Case of Hernia Incarceration Under the Closed Port-Site Fascia After Robot-Assisted Laparoscopic Radical Cystectomy: Insights and Management Strategies	Cureus 2023 2	Case report
87	Hiraoka K, Kawano T, Hirano T, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	TSLP activates the production of IFN- $\gamma$ via CD8-positive T cells in recurrent tonsillitis	Clinical Immunology Communications 2022 12.	Original Article
88	Kawano T, Hirano T, Takakura S, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Her2 expression can predict the survival of patients with salivary duct carcinoma	Clinical Immunology Communications 2022 12.	Original Article
89	Momii M, Kawano T, Takakura S, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A laser-assisted endoscopic approach to pyriform sinus fistula via fibrin glue cauterization	Clin Case Rep. 2022 12	Original Article
90	Hirano T, Takakura S, Suzuki M	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Laryngeal fracture treated with ultrasound-aided fixation using an absorbable plate system	Trauma Case Rep. 2023 2	Case report
91	Nakayama Y, Iwai R, Terazawa T 他	心臓血管外科	Pre-implantation evaluation of a small-diameter, long vascular graft (Biotube®) for below-knee bypass surgery in goats	J Biomed Mater Res B Appl Biomater. 2022 11	Original Article

92	Miyanaga T, Tokuyama K, Mizoguchi C, 他	放射線科	A Case of primary small cell neuroendocrine carcinoma of the uterus.	Radiolo Case Rep 2022 11	Case report
93	Baba H, Kiyosue H, Ide S, 他	放射線科	Spinal intraosseous arteriovenous fistulas with perimedullary drainage associated with vertebral compression fracture: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons 2022 7	Case report
94	Wada Y, Nakajima S, Mori N, 他	消化器内科	Evaluation of screening tests for autoimmune gastritis in histopathologically confirmed Japanese patients, and re-evaluation of histopathological classification	BMC Gastroenterol 2022 4	Original Article
95	Fuchino T, Wada Y, Kodama M, 他	消化器内科	Clinicopathological characteristics of pancreatic acinar cell metaplasia associated with Helicobacter pylori infection	BMC Gastroenterol 2022 6	Original Article
96	Hirashita Y, Fukuda M, Kodama M, 他	消化器内科	Potential association of eEF1A dimethylation at lysine 55 in the basal area of Helicobacter pylori-eradicated gastric mucosa with the risk of gastric cancer: a retrospective observational study	BMC Gastroenterol 2022 11	Original Article
97	Sagami R, Yamao K, Minami R, 他	消化器内科	ENDOSCOPIC ULTRASOUND CAN DIFFERENTIATE HIGH- GRADE PANCREATIC INTRAEPITHELIAL NEOPLASIA, SMALL PANCREATIC DUCTAL ADENOCARCINOMA, AND BENIGN STENOSIS. A MULTICENTER COMPARATIVE STUDY.	Gastrointest Endosc 2022 6	Others
98	Takahashi H, Yao K, Nagahama T, 他	消化器内科	Visualization of Absorbed Lipid in the Normal Duodenal Epithelium Using Magnifying Endoscopy with Narrow-Band Imaging	Dig Dis Sci 2022 12	Original Article
99	Kinoshita K, Mizukami K, Fukuda K, 他	消化器内科	Pancreatic cancer with pseudoaneurysm after duckbill-shaped anti-reflux metal stent placement: A case report	DEN Open 2022 12	Case report
100	Ozaka S, Sonoda A, Ariki S, 他	消化器内科	Saireito, a Japanese herbal medicine, alleviates leaky gut associated with antibiotic-induced dysbiosis in mice	PLoS One. 2022 6	Original Article

101	Ozaka S, Kobayashi T, Mizukami K, 他	消化器内科	COVID-19 vaccination and liver disease	World J Gastroenterol. 2022 12	Review
102	Ozaka S, Kobayashi T, Murakami K.	消化器内科	Comment on "A case of acute necrotising pancreatitis following the second dose of Pfizer-BioNTech COVID-19 mRNA vaccine"	Br J Clin Pharmacol 2022 5	Review
103	Endo M, Honda K, Saito T, 他	消化器内科	Role of EUS combined with a newly modified scoring system to detect pancreatic high grade precancerous lesions	Endosc Ultrasound. 2023 1	Original Article
104	Uchida T, Teraoka Y, Imamura M, 他	消化器内科	A novel cDNA-uPA/SCID/Rag2-/-/Jak3-/- mouse model for hepatitis virus infection and reconstruction of human immune system	J Viral Hepat 2023 3	Original Article
105	Uchida T, Imamura M, Hayes CN, 他	消化器内科	HBV with precore and basal core promoter mutations exhibits a high replication phenotype and causes ER stress-mediated cell death in humanized liver chimeric mice.	Hepatology 2023 3	Original Article
106	Mizukami K, Sugano K, Takeshima T, 他	消化器内科	Disease trends after Helicobacter pylori eradication based on Japanese nationwide claims and the health check-up database	World J Gastroenterol 2023 1	Original Article
107	Kinoshita K, Tsukamoto Y, Hirashita Y, 他	消化器内科	Efficient Establishment of Bile-Derived Organoids From Patients With Biliary Cancer	Lab Invest.2023 2	Original Article
108	Sagami R, Mizukami K, Okamoto K, 他	消化器内科	Experience-Related Factors in the Success of Beginner Endoscopic Ultrasound-Guided Biliary Drainage: A Multicenter Study	J Clin Med 2023 3	Original Article
109	Kodama M, Mizukami K, Hirashita Y, 他	消化器内科	Differences in clinical features and morphology between differentiated and undifferentiated gastric cancer after Helicobacter pylori eradication.	PLoS One. 2023 3	Original Article
110	Mizukami K, Kodama M, Fukuda M, 他	消化器内科	Comparison of the improvement in gastric mucosal tissue after Helicobacter pylori eradication between young and elderly people.	Arab J Gastroenterol 2023 1	Original Article

111	Nishida H Kondo Y Kusaba T 他	腫瘍内科	A multicentre retrospective study comparing site-specific treatment with empiric treatment for unfavourable subset of cancer of unknown primary site.	Jpn J Clin Oncol 2022 12	Original Article
112	Sho Y, Sakai T, Sato T, 他	皮膚科	Stratum Corneum Ceramide Profiles Provide Reliable Indicators of Remission and Potential Flares in Atopic Dermatitis	J Invest Dermatol 2022 12	Original Article
113	Sho Y, Sakai T, Matsuda- Hirose H, 他	皮膚科	Thromboembolism and bleeding in patients with autoimmune blistering disease.	Clin Exp Dermatol 2022 12	Original Article
114	Sakai T.	皮膚科	Stratum Corneum Lipids and Circulating Lipids in Atopic Dermatitis.	The 28th Congress of the Korean Society for Skin Barrier Research, Seoul, Korea 2022 10	Others
115	Nishiyori R, Saito K, Ishibashi M, 他	皮膚科	A case of orofacial swelling accompanied by sarcoid-like reaction due to chronic active Epstein-Barr virus infection	Eur J Dermatol 2022 4	Case report
116	Sumimoto T, Tanaka R, Shiraiwa K, 他	薬剤部	Exacerbation of cancer pain after administering immune checkpoint inhibitor in a patient taking opioids: A case report.	J Clin Pharm Ther. 2022 4	Case report
117	Amano E, Tanaka R, Ono H, 他	薬剤部	Association of vancomycin trough concentration and clearance with febrile neutropenia in pediatric patients.	Ther Drug Monit. 2022 8	Original Article
118	Miyagi C, Tanaka R, Hirata K, 他	薬剤部	High-Sensitivity and High-Throughput Quantification of Everolimus in Human Whole Blood using Ultra-High-Performance Liquid Chromatography Coupled with Tandem Mass Spectrometry.	Ther Drug Monit. 2022 10	Original Article
119	Tanaka R, Matsumoto A, Tatsuta R, 他	薬剤部	Sustained suppression of enterohepatic circulation of mycophenolic acid by antimicrobial-associated diarrhea in a kidney transplant recipient with Crohn's disease: A case report.	Clin Case Rep. 2022 6	Case report
120	Maeda Y, Tanaka R, Tatsuta R, 他	薬剤部	Impact of inflammation on intra-individual variation in trough voriconazole concentration in patients with hematological malignancies.	Biol Pharm Bull. 2022 8	Original Article



121	Tanaka R, Kai M, Shinohara S, 他	薬剤部	A validated UHPLC–MS/MS method for quantification of total and free tedizolid concentrations in human plasma.	J Pharm Biomed Anal. 2022 9	Original Article
122	Kai M, Tanaka R, Suzuki Y, 他	薬剤部	UHPLC–MS/MS method for simultaneous quantification of doripenem, meropenem, ciprofloxacin, levofloxacin, pazufloxacin, linezolid and tedizolid in filtrate during continuous renal replacement therapy.	J Clin Lab Anal 2023 1	Original Article
123	Tanaka R, Suzuki Y, Watanabe H, 他	薬剤部	Response to “iPTH is not a significant factor influencing the Tacrolimus C/D ratio”.	Clin Transl Sci 2022 4	Letter
124	Hashimoto T, Ando M, Nureki S, 他	感染制御部	Pneumocystis Pneumonia Mimicking Atypical Pneumonia in a Patient With Human Immunodeficiency Virus Infection.	Cureus 2022 8	Case report
125	Hashimoto T, Hashinaga K, Komiya K, 他	感染制御部	Prevalence of antimicrobial resistant genes in Bacteroides spp. isolated in Oita Prefecture, Japan.	J Infect Chemother 2023 3	Original Article
126	Miyoshi M, Watanabe N, Fukuda T	循環器内科	Left atrial appendage orifice dimensions in Japanese atrial fibrillation population measured by multiplane transesophageal echocardiography.	J Echocardiogr 2022 10	Original Article
127	Akioka H, Yufu K, Harada T	循環器内科	Reduction of bleeding complications on puncture site after percutaneous coronary intervention using a 6.5–French sheathless guiding catheter.	Heart Vessels 2022 6	Original Article
128	Shinohara T, Yonezu K, Hirota K	循環器内科	Fragmented QRS as a risk marker for the occurrence of ventricular fibrillation in patients with variant angina.	Ann Noninvasive Electrocardiol 2022 5	Original Article
129	Takahashi N, Abe I, Kira S	循環器内科	Role of epicardial adipose tissue in human atrial fibrillation.	J Arrhythm 2023 2	Original Article

130	Takahashi M, Abe I, Ishii Y	循環器内科	Close relationship between severe pectus excavatum and low voltage area/delayed potentials at right ventricular outflow tract: observations in patient With brugada syndrome.	Circ Cardiovasc Imaging 2023 2	Case report
131	Hirota K, Fukui A, Yamaguchi T	循環器内科	Interatrial conduction time is associated with left atrial low voltage area and predicts the recurrence after single atrial fibrillation ablation.	J Arrhythm 2023 1	Original Article
132	Uemura T, Kondo H, Shinohara T	循環器内科	Multiple accessory pathways coexisting with a persistent left superior vena cava: a case report.	J Med Case Rep 2023 3	Case report
133	Uemura T, Kondo H, Sato H	循環器内科	Predictors of outcome after catheter ablation for atrial fibrillation: Group analysis categorized by age and type of atrial fibrillation.	Ann Noninvasive Electrocardiol 2023 3	Original Article
134	Sato H, Kondo H, Oniki T	循環器内科	Acute Heart Failure in an Almost-Centenarian Patient With Symptomatic Severe Aortic Stenosis Treated With Ivabradine	Cureus 2022 10	Case report
135	Kawano K, Shinohara T, Kondo H	循環器内科	Risk stratification of ventricular fibrillation in patients with symptomatic Brugada syndrome using pharmacological tests	J Cardiovasc Electrophysiol 2023 1	Original Article
136	Harada T, Kondo H, Yufu K	循環器内科	Role of computed tomography-based evaluation of skeletal muscle area in predicting cardiovascular outcomes in patients with chronic heart failure after cardiac resynchronization therapy	Geriatr Gerontol Int 2022 12	Original Article
137	Kawano K, Kondo H, Takahashi M	循環器内科	Arrhythmogenic right-ventricular cardiomyopathy with plakophilin-2 genetic variant concomitant with early manifestation of ventricular tachyarrhythmia: a case series	Eur Heart J Case Rep 2022 9	Case report
138	Kawano K, Yufu K, Shimomura T	循環器内科	Prehospital 12-Lead Electrocardiography System in Oita Assisted Transport of "True" Acute Coronary Syndrome Patients to Optimal Institutes	Circ J 2022 9	Original Article

139	Shinohara T, Takahashi N	循環器内科	Irregular heart rhythm algorithm: a novel strategy to accurately detect atrial fibrillation by ambulatory monitoring of blood pressure	Hypertens Res 2022 8	Original Article
140	Wada M, Kondo H, Fukuda T	循環器内科	Potential efficacy of multipoint pacing in the reduction of mitral regurgitation volume: a case report	ESC Heart Fail 2022 8	Case report
141	Takahashi M, Kondo H, Yonezu K	循環器内科	Atrial Fibrillation-triggered Ventricular Fibrillation in a Patient with Early Repolarization Syndrome	Intern Med 2022 7	Case report
142	Sato H, Kondo H, Oniki T	循環器内科	Impact of the COVID-19 Pandemic on Acute Admissions to a Secondary Referral Hospital in a Rural City in Japan: A Retrospective Study	Disaster Med Public Health Prep 2022 10	Original Article
143	Nasu K, Aoyagi Y, Zhu R, 他	産科婦人科	Promising therapeutic targets of endometriosis obtained from microRNA studies.	Med Mol Morphol 2022 11	Review
144	Yano M, Nasu K, Yasuda M, 他	産科婦人科	Clinicopathological features and PD-L1 immunohistochemical expression in a multicenter cohort of uterine and ovarian melanomas: A retrospective study in Japan (KCOG-G1701s).	Melanoma Res 2022 6	Original Article
145	Kai K, Koga K, Yamamoto M, 他	産科婦人科	Factors Affecting the Recruitment of New Obstetrician-gynecologists in Japan: A Report of The MIRAI Committee of the Japanese Society of Obstetrics and Gynecology.	J Obstet Gynaecol Res. 2022 4	Original Article
146	Nishida M, Nasu K, Kai K, 他	産科婦人科	Robot-assisted surgery for early uterine corpus cancer: assessing the learning curve	Eur J Gynaecol Oncol 2022 12	Original Article

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
  
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的と適用範囲、組織・構成、設置者の責務、委員会の責務、委員会の運営、委員会事務局の業務、及び記録の保管について規定している。内容は、ヘルシンキ宣言及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針にすべて対応するものとして整備している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、審査する委員会に関する事項（審議事項、構成、任期、委員長、委員会の開催要件、審査手続き、調査方法、概念の啓蒙、守秘義務）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年25回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 臨床研究の責任者・分担者を必須受講者として、講演による講習を行っている。その他研究支援業務や倫理審査委員会委員、また間接的に研究に関わる者についても基本的には必須としている。内容は、研究倫理の歴史、倫理的な問題のある具体例の解説、指針が改訂された場合はその主なポイントの解説を行っている。	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

呼吸器内科臨床研修プログラム 内分泌・糖尿病内科専門医育成プログラム リウマチ・膠原病内科専門医育成プログラム 他28件
--

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	79.39 人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
平松 和史	呼吸器・感染症内科	教授	35年	
柴田 洋孝	内分泌・糖尿病内科	教授	34年	
柴田 洋孝	膠原病内科	教授	34年	
柴田 洋孝	腎臓内科	教授	34年	
松原 悦朗	脳神経内科	教授	37年	
村上 和成	消化器内科	教授	39年	
高橋 尚彦	循環器内科	教授	34年	
緒方 正男	血液内科	教授	33年	
緒方 正男	腫瘍内科	教授	33年	
宮崎 英士	総合内科・総合診療科	教授	38年	
寺尾 岳	精神科	教授	37年	
井原 健二	小児科	教授	33年	
猪股 雅史	消化器外科	教授	34年	
杉尾 賢二	呼吸器外科	教授	40年	
杉尾 賢二	乳腺外科	教授	40年	
宮本 伸二	心臓血管外科	教授	38年	
藤木 稔	脳神経外科	教授	36年	
津村 弘	整形外科	教授	41年	
清水 史明	形成外科	講師	23年	
波多野 豊	皮膚科	教授	30年	
秦 聡孝	腎臓外科・泌尿器科	教授	24年	
久保田 敏昭	眼科	教授	40年	
鈴木 正志	耳鼻咽喉科	教授	39年	
河野 康志	産科婦人科	診療教授	34年	
浅山 良樹	放射線科	教授	29年	
北野 敬明	麻酔科	教授	38年	
安部 隆三	救命救急科	教授	24年	
片岡 晶志	リハビリテーション科	診療教授	35年	
河野 憲司	歯科口腔外科	教授	37年	
駄阿 勉	病理診断科・病理部	教授	35年	
上村 尚人	臨床薬理センター	教授	31年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

（看護部）

- ・看護師向け段階別研修等

（期間・実施回数・参加人数は別紙のとおり）

（ME 機器センター）

- ・メディカルスタッフ新採用者オリエンテーション：2022年4月4日，90名

医療機器の安全使用を目的に全般の注意事項に関する内容

- ・看護部 ME機器研修：2022年4月25日～5月31日 e-learning，63名

新入職者を対象に医療機器の安全使用、一般病棟で使用する人工呼吸器等の生命維持管理装置、輸液ポンプやセントラルモニタに関する内容

- ・ME機器講習会：2022年6月27日～8月31日 e-learning，1336名

2022年10月24日～2023年1月3日 elearning，1178名

全職員を対象に年2回実施、前期では基礎的知識や基本的な取り扱いとした内容、後期はインシデント事例や安全性情報に関連する内容

- ・各種の医療機器研修会：78回

各種医療機器の原理や適応、操作方法、インシデント事例・注意事項、トラブルシューティング等の内容

（放射線部）

（1）放射線業務従事者教育訓練講習会

放射線管理区域に入って放射線診療を行う者（更新者および新規対象者）に対して、法令に基づき教育訓練研修を受講する必要がある。令和4年度はe-learning形式で以下の期間実施した。

令和4年4月19日～7月15日

更新者：263名、新規対象者：141名 ※医師、歯科医師も含む



(2) 診療用放射線の安全利用のための研修

放射線診療に従事する、放射線検査を依頼する、放射線医薬品の取扱いに従事する、放射線検査を受ける患者から説明を求められる対象者等、当院指針にて示された医療従事者は受講する必要がある。令和4年度はe-learning形式で以下の期間実施した。

令和5年2月1日～令和5年3月17日

受講者数：766名 ※医師、歯科医師も含む

(3) 放射線部技師研修

診療放射線技師対象の部内研修（医療機器安全研修および医療安全研修は除く）

- ・ 令和4年6月30日 造影剤の安全性に係る講習 参加者20名
- ・ 令和4年7月14日 CT装置に係る性能評価、安全性について（1） 参加者13名
- ・ 令和4年7月28日 CT装置に係る性能評価、安全性について（2） 参加者13名
- ・ 令和4年8月18日 心臓CT撮影における画像処理について 参加者17名
- ・ 令和4年9月7日 マンモグラフィ撮影に係る撮影技術と装置安全性（1） 参加者12名
- ・ 令和4年10月12日 CT画像の画質評価について 参加者10名
- ・ 令和4年10月19日 マンモグラフィ撮影に係る撮影技術と装置安全性（2） 参加者8名
- ・ 令和4年11月2日 フォトンカウンティングCT装置の性能と画質について 参加者13名
- ・ 令和4年11月7日 マンモグラフィ撮影に係る撮影技術と装置安全性（3） 参加者8名
- ・ 令和4年12月15日 低濃度造影剤について 参加者17名
- ・ 令和5年2月15日 MR撮影技術について 参加者11名
- ・ 令和5年3月14日 マンモグラフィ撮影に係る撮影技術と装置安全性（4） 参加者8名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

（薬剤部）

・ 研修の主な内容

新採用者オリエンテーションにより、本院において医療業務に携わる上で、各職員が必ず修得

しておくべき基本的かつ重要な事項について周知・徹底している。

・研修の期間・実施回数

令和4年4月1日（金），4月4日（月）

・研修の参加人数

83名

（放射線部）

（1）特定機能病院における定期研修

安全使用に際して技術の習熟が必要と考える医療機器に関する研修を年2回程度定期的に行うことが義務付けられている。放射線部においては診療用高エネルギー放射線発生装置（リニアック）ならびに診療用放射線照射装置（192Ir密封小線源）が該当する。

①第84回放射線治療部会（第78回日本放射線技術学会総会学術大会）WEB

期間：令和4年4月14日～5月18日

参加者：5名／7名

②第57回千葉県放射線治療研究会 WEB

期間：令和4年4月21日

参加者：1名／7名

③Radixact取扱説明会・安全取扱研修

期間：令和5年5月30日～6月7日

参加者：7名／7名

④第150回記念大会Hybrid放射線治療かたろう会

期間：令和4年6月25日

参加者：2名／7名

⑤TrueBeam&Eclipse取扱説明会・安全利用研修

期間：令和4年7月6日～7月12日

参加者：7名／7名

⑥医学物理学会「医学物理士会計画者の視点から学ぶ」 オンデマンド

期間：令和4年7月16日

参加者：1名／1名

⑦2022年度関東RT研究会ミニ講習会 WEB

期間：令和4年7月22日～8月1日

参加者：1名／7名

⑧第17回MIYAGI RT LAB WEB

期間：令和4年7月30日

参加者：1名／7名

⑨（一社）日本放射線治療専門放射線技師認定機構認定 2022年度九州1地区講習会

期間：令和4年8月6日～9月15日

参加者：6名／7名

⑩医学物理士会「がん治療における臨床知識の再取得とアップデート」オンデマンド

期間：令和4年8月27日

参加者：1名／1名

⑪第151回放射線治療かたろう会

期間：令和4年9月10日

参加者：1名／7名

⑫第146回広島県放射線治療技術研究会

期間：令和4年10月1日

参加者：2名／7名

⑬第20回放射線治療かたろう会システム研究分科会

期間：令和4年10月15日

参加者：1名／7名

⑭第18回MIYAGI RT LAB WEB

期間：令和4年10月29日

参加者：1名／7名

⑮第122回神奈川県放射線治療技術研究会

期間：令和4年11月26日

参加者：1名／7名

⑯第152回放射線治療かたろう会

期間：令和4年12月3日

参加者：1名／7名

⑰2022年度放射線治療品質管理士講習会

期間：令和5年1月20日～2月10日

参加者：5名／5名

⑱フレキシトロン安全取扱研修

期間：令和5年2月28日

参加者：7名／7名

(2) 医療機器新規導入時研修

医療用装置・機器を新しく導入する際は、当該医療機器を操作・使用する者に対する研修を行う必要がある。令和4年度は以下の研修を実施した。

1) 放射線治療装置（付属備品含む）関連

①Raystationデータ測定説明会

期間：令和4年4月22日

参加者：4名／7名

②内視鏡取り扱い説明会

期間：令和4年4月26日

参加者：5名／7名

③TrueBeam測定説明会

期間：令和4年5月2日

参加者：4名／7名

④ Raystetion取扱説明会

期間：令和4年5月6日

参加者：4名／7名

⑤EC203 Portal Dosimetry説明会

期間：令和4年5月17日

参加者：1名／7名

⑥ESFORM取り扱い説明会

期間：令和4年5月24日

参加者：3名／7名

⑦Radixact取扱説明会・安全取扱研修

期間：令和4年5月30日～6月7日

参加者：7名／7名

⑧Raytomo取り扱い説明会

期間：令和4年6月8日

参加者：4名／7名

⑨エンコンパス取り扱い説明会

期間：令和4年6月10日

参加者：4名／7名

⑫東洋メディテック納品機器一連取扱説明会

期間：令和4年6月13日～6月15日

参加者：7名／7名

⑬千代田テクノル納品機器一連取扱説明会

期間：令和4年6月23日～6月24日

参加者：7名／7名

⑭Varian Web講習会「EC2021IMRT/VMAT Commissioning」Web

期間：令和4年7月2日～7月5日

参加者：1名／7名

⑮TrueBeam&Eclipse取扱説明会・安全取扱研修

期間：令和4年7月6日～7月11日

参加者：7名／7名

⑯Raystation照射管理ソフト取り扱い説明会

期間：令和4年7月14日

参加者：4名／7名

⑰IGBT取り扱い説明会

期間：令和4年11月7日

参加者：7名／7名

⑱SunCHECK取り扱い説明会

期間：令和4年11月28日～11月29日

参加者：7名／7名

⑲RGSC及びHyperArc取り扱い説明会

期間：令和5年2月21日

参加者：4名／7名

(3) コ・メディカル新採用者オリエンテーション

新規採用となったコ・メディカル職員等に対し、「放射線と放射線防護の理解」について講義研修を実施した。

令和4年4月1日 参加者96名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

# 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
1	PCAポンプ研修	2022/07/20 17:00~17:40	看護師:5人 看護師:1人
2	PCAポンプ研修	2022/07/20 17:40~18:20	看護師:2人 助産師:1人 看護師:2人
3	PCAポンプ研修	2022/07/27 17:00~17:40	看護師:3人 看護師:3人
4	PCAポンプ研修	2022/07/27 17:40~18:20	看護師:3人
5	PCAポンプ研修	2022/09/28 17:00~18:30	看護師:5人 看護師:5人
6	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2022/08/19 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:2人
7	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2022/09/16 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:2人
8	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2022/09/30 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:2人
9	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2022/10/14 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:2人
10	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2022/10/28 17:00~18:00	看護師:1人 看護師:2人
11	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2022/11/11 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:2人
12	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2022/11/25 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:2人
13	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2023/01/20 08:30~12:30	看護師:1人 看護師:2人
14	アクティブNS・がん患者の全人的アセスメント	2023/02/06 17:00~18:00	看護師:1人 看護師:2人
15	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/08/08 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:2人
16	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/08/22 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:2人
17	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/09/12 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:2人
18	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/10/03 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:2人
19	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/10/24 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:2人
20	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/11/14 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:2人
21	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/11/28 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:2人
22	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/12/02 14:00~15:00	看護師:2人
23	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/12/09 14:00~15:00	看護師:2人
24	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2022/12/16 14:00~15:00	看護師:1人
25	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2023/01/30 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:2人
26	アクティブNS・フィジカルアセスメント	2023/02/06 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:2人
27	アクティブNS・食支援	2022/08/10 17:00~18:00	看護師:3人 看護師:4人
28	アクティブNS・食支援	2022/08/24 17:00~18:00	看護師:3人 看護師:4人
29	アクティブNS・食支援	2022/09/07 17:00~18:00	看護師:3人 看護師:4人
30	アクティブNS・食支援	2022/09/21 17:00~18:30	看護師:3人 看護師:4人
31	アクティブNS・食支援	2022/10/12 17:00~18:30	看護師:3人 看護師:4人
32	アクティブNS・食支援	2022/11/09 17:00~18:00	看護師:3人 看護師:4人
33	アクティブNS・食支援	2022/11/30 17:00~18:00	看護師:3人 看護師:4人
34	アクティブNS・食支援	2023/01/25 17:00~19:00	看護師:3人 看護師:4人
35	アクティブNS・食支援	2023/02/06 17:00~18:00	看護師:3人 看護師:4人
36	アクティブNS・食支援	2023/03/08 17:00~19:00	看護師:3人 看護師:4人



## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
37	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/08/15 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:1人
38	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/08/30 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:1人
39	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/09/05 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:1人
40	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/10/11 17:00~18:30	看護師:4人 看護師:1人
41	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/10/21 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:1人
42	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/11/21 17:00~18:30	看護師:4人 看護師:1人
43	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/12/02 14:00~15:00	看護師:1人
44	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/12/06 14:00~15:00	看護師:1人
45	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/12/13 14:00~15:00	看護師:1人
46	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/12/14 14:00~15:00	看護師:1人
47	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/12/20 14:00~15:00	看護師:1人
48	アクティブNS・認知症高齢者へのケアの視点に基づいた看護	2022/12/23 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
49	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/08/09 17:00~18:00	看護師:1人 看護師:3人
50	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/08/23 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:3人
51	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/09/06 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:3人
52	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/09/20 17:00~18:00	看護師:1人 看護師:3人
53	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/10/04 17:00~18:00	看護師:1人 看護師:3人
54	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/10/18 17:00~18:00	看護師:1人 看護師:3人
55	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/11/09 13:30~14:30	看護師:1人
56	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/11/16 13:30~14:30	看護師:1人
57	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/12/07 13:30~14:30	看護師:1人
58	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2022/12/14 13:30~14:30	看護師:1人
59	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2023/01/17 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:3人
60	アクティブナースNS・スキンケア (予防的・治療的)	2023/02/06 17:00~18:00	看護師:1人 看護師:3人
61	コミュニケーションStepUp	2022/10/20 08:30~17:15	看護師:18人 助産師:1人 看護師:7人 助産師:1人
62	コミュニケーションStepUp	2022/11/24 08:30~17:15	看護師:29人 看護師:2人 助産師:1人
63	フィジカルアセスメント I	2022/10/27 17:00~19:00	看護師:2人 看護師:53人 助産師:1人
64	フィジカルアセスメント II	2022/10/28 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:17人
65	ペナール事例検討	2022/12/08 08:30~17:15	看護師:8人 看護師:2人
66	マネジメント I	2022/07/07 08:30~17:15	看護師:13人 看護師:3人 助産師:1人
67	マネジメント I	2022/07/21 08:30~17:15	看護師:16人 看護師:3人 助産師:1人
68	マネジメント I	2022/08/04 08:30~17:15	看護師:17人 助産師:1人 看護師:3人
69	マネジメント II	2022/08/25 08:30~17:15	看護師:18人 助産師:1人

## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
70	マネジメントⅡ	2022/09/08 08:30~17:15	看護師:20人
71	マネジメントⅢ	2022/04/21 08:30~17:15	看護師:5人 助産師:1人 看護師:13人 助産師:1人
72	マネジメントⅢ	2022/06/16 08:30~17:15	看護師:5人 助産師:1人 看護師:13人 助産師:1人
73	マネジメントⅢ	2022/12/15 08:30~17:15	看護師:5人 助産師:1人 看護師:12人 助産師:1人
74	医療安全管理Ⅰ	2022/09/26 08:30~12:30	看護師:14人 看護師:1人 助産師:1人
75	医療安全管理Ⅰ	2022/09/26 13:30~17:15	看護師:9人 看護師:6人
76	医療安全管理Ⅰ	2022/09/28 08:30~12:30	看護師:12人 看護師:2人
77	医療安全管理Ⅰ	2022/09/28 13:30~17:15	看護師:2人 看護師:12人 助産師:1人
78	医療安全管理Ⅱ	2022/06/21 08:30~12:30	看護師:21人 助産師:2人 看護師:1人
79	医療安全管理Ⅱ	2022/06/30 08:30~12:30	看護師:22人 助産師:1人
80	医療安全管理Ⅲ	2022/05/12 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:29人
81	医療安全管理Ⅲ	2022/08/31 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:29人
82	感染管理Ⅰ	2022/06/23 08:30~12:30	看護師:26人 看護師:3人 助産師:1人
83	感染管理Ⅰ	2022/06/23 13:15~17:15	看護師:23人 看護師:7人 助産師:1人
84	感染管理Ⅱ	2022/06/21 13:30~17:15	看護師:21人 助産師:2人 看護師:1人
85	感染管理Ⅱ	2022/06/30 13:30~17:15	看護師:22人 助産師:1人
86	感染管理Ⅲ	2022/06/02 17:00~19:00	看護師:6人 看護師:25人
87	感染管理Ⅲ	2022/10/13 17:00~19:00	看護師:6人 看護師:25人
88	看護と倫理Ⅰ	2022/08/29 17:00~19:00	看護師:1人 看護師:21人
89	看護と倫理Ⅱ	2022/09/24 08:30~17:15	看護師:5人 助産師:1人 看護師:13人 助産師:1人
90	看護過程Ⅰ事例展開	2022/11/04 08:30~17:15	看護師:25人 看護師:4人 助産師:2人
91	看護過程Ⅰ事例展開	2022/11/10 08:30~17:15	看護師:21人 看護師:6人 助産師:1人 助産師:1人
92	看護過程Ⅱ	2022/09/15 08:30~17:15	看護師:21人 助産師:2人
93	看護過程Ⅱ	2022/09/29 08:30~17:15	看護師:19人
94	看護実践統合	2022/05/20 08:30~17:15	看護師:3人 助産師:1人
95	看護実践統合	2022/08/18 08:30~17:15	看護師:3人 助産師:1人
96	看護実践統合	2022/11/17 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人 助産師:1人

## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
97	看護実践統合	2023/02/16 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人 助産師:1人
98	看護助手 BLS	2022/04/22 17:00~18:00	看護補助者:3人
99	看護助手 BLS	2022/05/16 17:00~18:00	看護補助者:2人
100	看護助手 BLS	2022/06/23 17:00~18:00	看護補助者:1人
101	看護助手 BLS	2022/09/13 16:00~17:00	看護補助者:10人
102	看護助手 BLS	2022/09/13 17:00~18:00	看護補助者:4人
103	看護助手 BLS	2022/09/13 18:00~19:00	看護補助者:4人
104	看護助手 サービスマナー	2022/05/02 14:00~14:20	看護補助者:7人 看護補助者:8人 看護補助者:4人
105	看護助手 サービスマナー	2022/05/02 18:30~18:50	看護補助者:5人
106	看護助手 サービスマナー	2022/06/01 14:00~14:20	看護補助者:2人 看護補助者:6人 看護補助者:2人
107	看護助手 サービスマナー	2022/06/01 18:30~18:50	看護補助者:3人 看護補助者:1人
108	看護助手 サービスマナー	2022/07/01 14:00~14:20	看護補助者:1人
109	看護助手 フォローアップ	2022/07/05 13:00~14:30	看護補助者:9人 看護補助者:15人 看護補助者:6人
110	看護助手 フォローアップ	2022/07/05 16:00~17:00	看護補助者:10人
111	看護助手 医療事故防止	2022/05/02 14:00~14:20	看護補助者:5人 看護補助者:7人 看護補助者:4人
112	看護助手 医療事故防止	2022/05/02 18:30~18:50	看護補助者:3人
113	看護助手 医療事故防止	2022/06/01 14:00~14:20	看護補助者:3人 看護補助者:7人 看護補助者:3人
114	看護助手 医療事故防止	2022/06/01 18:30~18:50	看護補助者:1人 看護補助者:2人 看護補助者:4人
115	看護助手 院内感染予防	2022/05/02 14:00~14:20	看護補助者:4人 看護補助者:10人 看護補助者:2人
116	看護助手 院内感染予防	2022/05/02 18:30~18:50	看護補助者:3人
117	看護助手 院内感染予防	2022/06/01 14:00~14:20	看護補助者:4人 看護補助者:5人 看護補助者:4人
118	看護助手 院内感染予防	2022/06/01 18:30~18:50	看護補助者:2人 看護補助者:5人
119	看護助手 技術演習	2022/06/14 16:00~17:00	看護補助者:9人
120	看護助手 技術演習	2022/10/04 10:00~11:00	看護補助者:3人 看護補助者:1人
121	看護助手 技術演習	2022/10/04 13:00~14:00	看護補助者:1人 看護補助者:2人
122	看護助手 技術演習	2022/10/17 10:00~11:00	看護補助者:1人 看護補助者:2人
123	看護助手 技術演習	2022/10/17 13:00~15:00	看護補助者:2人 看護補助者:1人
124	看護助手 技術演習	2022/10/17 16:00~17:00	看護補助者:2人
125	看護助手 抗がん剤曝露対策	2022/05/02 14:00~14:20	看護補助者:7人 看護補助者:10人 看護補助者:3人
126	看護助手 抗がん剤曝露対策	2022/05/02 18:30~18:50	看護補助者:2人
127	看護助手 抗がん剤曝露対策	2022/06/01 14:00~14:20	看護補助者:5人 看護補助者:1人 看護補助者:3人

## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
128	看護助手 抗がん剤曝露対策	2022/06/01 18:30~18:50	看護補助者:2人 看護補助者:6人
129	看護助手 職業倫理	2022/05/02 14:00~14:20	看護補助者:7人 看護補助者:8人 看護補助者:3人
130	看護助手 職業倫理	2022/05/02 18:30~18:50	看護補助者:5人 看護補助者:1人
131	看護助手 職業倫理	2022/06/01 14:00~14:20	看護補助者:2人 看護補助者:6人 看護補助者:3人
132	看護助手 職業倫理	2022/06/01 18:30~18:50	看護補助者:3人
133	看護助手 職業倫理	2022/07/01 18:30~18:50	看護補助者:1人
134	看護助手技術演習 2回目	2022/10/04 11:00~12:00	看護補助者:2人 看護補助者:1人
135	看護助手技術演習 2回目	2022/10/04 16:00~17:00	看護補助者:6人
136	看護助手技術演習 2回目	2022/10/17 11:00~12:00	看護補助者:1人 看護補助者:2人
137	看護助手技術演習 2回目	2022/10/17 13:00~15:00	看護補助者:1人
138	看護助手技術演習 2回目	2022/10/17 16:00~17:00	看護補助者:3人
139	既卒 1ヶ月フォローアップ	2022/04/25 17:00~17:30	助産師:1人 看護師:1人
140	既卒 3ヶ月フォローアップ	2022/06/23 17:00~17:30	助産師:1人 看護師:1人
141	既卒 6ヶ月フォローアップ	2022/09/28 17:15~18:15	助産師:1人 看護師:1人
142	既卒 BLS	2022/08/26 08:30~12:00	看護師:1人
143	既卒 BLS	2022/10/26 08:30~12:00	助産師:1人
144	既卒 ME機器	2022/05/10 08:30~17:15	看護師:1人
145	既卒 ME機器	2022/05/11 08:30~17:15	助産師:1人
146	既卒 サービスマナー	2022/04/07 13:30~17:15	助産師:1人 看護師:1人
147	既卒 院内感染予防	2022/06/23 08:30~12:30	助産師:1人 看護師:1人
148	既卒 看護過程 I 情報	2022/04/08 11:00~17:15	助産師:1人 看護師:1人
149	既卒 抗がん剤曝露対策	2022/04/15 13:30~13:50	助産師:1人 看護師:1人
150	既卒 情報管理	2022/04/08 11:00~17:15	助産師:1人 看護師:1人
151	既卒 職業倫理	2022/04/07 13:30~17:15	助産師:1人 看護師:1人
152	既卒 薬の知識	2022/04/15 13:30~14:10	助産師:1人 看護師:1人
153	既卒 褥瘡予防と管理	2022/04/15 13:30~14:20	助産師:1人 看護師:1人
154	教育支援	2022/07/28 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:16人 助産師:1人
155	教育支援	2023/03/09 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:14人 助産師:1人
156	災害看護	2022/06/09 17:00~19:00	看護師:4人 看護師:24人
157	自主 がん化学療法看護	2022/06/10 17:00~18:30	看護師:7人 看護師:5人 バ:1人
158	自主 がん看護	2022/09/01 17:00~18:00	看護師:2人 助産師:1人 看護師:1人 看護師:7人 助産師:1人
159	自主 緩和ケア看護	2022/07/08 17:00~18:30	看護師:1人 看護師:1人 看護師:14人

## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
160	自主 周術期看護	2022/12/01 17:00~18:00	看護師:15人 助産師:1人
161	自主 集中ケア看護	2022/10/18 17:00~18:30	看護師:13人
162	自主 糖尿病看護	2022/07/01 17:00~18:30	看護師:11人 看護師:47人 看護師:3人
163	自主 認知症看護	2022/11/01 17:00~18:00	助産師:1人 看護師:1人 看護師:2人 看護師:32人 看護師:3人
164	自主 脳卒中リハビリテーション看護	2022/11/01 17:00~18:00	看護師:4人 看護師:7人
165	自主 慢性心不全看護	2022/09/16 17:00~18:00	看護師:8人 看護師:2人 看護師:7人
166	自主 老年看護	2022/12/23 08:30~12:30	助産師:1人 看護師:1人 看護師:6人
167	自主 褥瘡予防ケア看護	2022/06/01 17:00~18:30	看護師:5人 助産師:1人 看護師:46人 看護師:1人 助産師:1人 看護師:2人
168	実地指導者研修	2022/05/26 08:30~17:15	看護師:18人 助産師:2人
169	実地指導者研修	2022/09/22 08:30~17:15	看護師:19人 助産師:2人
170	実地指導者研修	2023/03/16 08:30~17:15	看護師:20人 助産師:1人
171	心電図の基礎知識 I ベーシック	2022/05/21 09:00~16:00	看護師:20人 助産師:2人 看護師:3人
172	心電図の基礎知識 I ベーシック	2022/08/27 09:00~16:00	看護師:27人 看護師:3人 看護師:1人
173	心電図の基礎知識 II 不整脈	2022/06/25 09:00~16:00	看護師:23人
174	心電図の基礎知識 III 虚血	2022/07/23 09:00~16:00	看護師:8人
175	新人 1ラウンドフォローアップ	2022/07/14 08:30~12:30	看護師:26人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:3人
176	新人 1ラウンドフォローアップ	2022/07/15 08:30~12:30	看護師:21人 看護師:6人
177	新人 1年目フォローアップ研修	2023/02/02 08:30~17:15	看護師:23人 看護師:4人 助産師:1人
178	新人 1年目フォローアップ研修	2023/02/03 08:30~17:15	看護師:21人 看護師:5人 助産師:1人 助産師:1人
179	新人 2ラウンドフォローアップ	2022/10/06 13:30~17:15	看護師:23人 看護師:5人
180	新人 2ラウンドフォローアップ	2022/10/07 13:30~17:15	看護師:23人 看護師:6人 助産師:1人
181	新人 BLS	2022/08/01 13:00~17:15	看護師:4人
182	新人 BLS	2022/08/05 08:30~11:30	看護師:3人
183	新人 BLS	2022/08/05 13:00~16:45	看護師:1人 看護師:2人
184	新人 BLS	2022/08/09 08:30~12:15	看護師:3人 看護師:1人
185	新人 BLS	2022/08/19 08:30~14:30	看護師:5人 看護師:1人
186	新人 BLS	2022/08/22 08:30~12:00	看護師:2人 看護師:1人
187	新人 BLS	2022/08/23 08:30~12:00	看護師:2人 看護師:5人

## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
188	新人 BLS	2022/08/26 08:30~12:00	看護師:1人 看護師:1人
189	新人 BLS	2022/08/30 08:30~14:00	看護師:3人 看護師:1人
190	新人 BLS	2022/08/31 08:30~11:00	看護師:2人
191	新人 BLS	2022/09/06 08:30~11:00	看護師:2人
192	新人 BLS	2022/09/07 13:00~15:40	看護師:2人
193	新人 BLS	2022/09/08 08:30~10:30	看護師:1人
194	新人 BLS	2022/09/08 13:30~16:00	看護師:2人
195	新人 BLS	2022/09/14 08:30~11:30	看護師:2人 看護師:1人
196	新人 BLS	2022/09/14 13:00~15:30	看護師:1人 看護師:1人
197	新人 BLS	2022/09/27 08:30~11:30	看護師:4人
198	新人 BLS	2022/10/26 08:30~12:00	看護師:2人
199	新人 BLS	2022/10/26 14:20~17:00	看護師:2人 助産師:1人
200	新人 ME機器	2022/04/26 08:30~17:15	看護師:3人
201	新人 ME機器	2022/05/02 08:30~17:15	看護師:11人 看護師:2人
202	新人 ME機器	2022/05/06 08:30~17:15	看護師:5人 看護師:2人
203	新人 ME機器	2022/05/10 08:30~17:15	看護師:7人 看護師:2人
204	新人 ME機器	2022/05/11 08:30~17:15	看護師:2人 看護師:13人 助産師:1人 助産師:1人
205	新人 ME機器	2022/05/16 08:30~17:15	看護師:5人 看護師:1人
206	新人 ME機器	2022/06/06 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:2人
207	新人 ME機器	2022/06/13 08:30~17:15	看護師:3人
208	新人 コミュニケーション基礎1(早期研修)	2022/04/06 08:30~12:00	看護師:44人 看護師:10人 助産師:1人 助産師:1人
209	新人 コミュニケーション基礎1(早期研修)	2022/04/18 16:10~17:00	看護師:5人
210	新人 コミュニケーション基礎2(早期研修)	2022/04/12 13:30~17:15	看護師:19人 看護師:3人
211	新人 コミュニケーション基礎2(早期研修)	2022/04/13 13:30~17:15	看護師:13人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:2人
212	新人 コミュニケーション基礎2(早期研修)	2022/04/14 13:30~17:15	看護師:5人 看護師:17人
213	新人 サービスマナー (早期研修)	2022/04/07 08:30~17:15	看護師:16人 看護師:3人
214	新人 サービスマナー (早期研修)	2022/04/08 08:30~17:15	看護師:12人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:2人
215	新人 サービスマナー (早期研修)	2022/04/11 08:30~17:15	看護師:5人 看護師:17人
216	新人 サービスマナー (早期研修)	2022/04/19 08:30~15:40	看護師:4人
217	新人 シャドウイング (早期研修)	2022/04/15 08:30~17:15	看護師:44人 看護師:10人 助産師:1人 助産師:1人
218	新人 シャドウイング (早期研修)	2022/04/18 08:30~17:15	看護師:5人
219	新人 セルフマネジメント1	2022/05/13 08:30~12:30	看護師:27人 看護師:5人

## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
220	新人 セルフマネジメント1	2022/05/13 13:15~17:15	看護師:5人 看護師:22人 助産師:1人 助産師:1人
221	新人 セルフマネジメント2	2022/06/11 08:30~17:15	看護師:25人 看護師:4人 助産師:1人
222	新人 セルフマネジメント2	2022/06/18 08:30~17:15	看護師:24人 看護師:6人 助産師:1人
223	新人 院内感染予防	2022/04/05 13:00~16:00	看護師:44人 看護師:10人 助産師:1人 助産師:1人
224	新人 院内感染予防	2022/04/19 11:30~12:30	看護師:5人
225	新人 看護過程 I アセスメント (早期研修)	2022/04/12 13:30~17:15	看護師:5人 看護師:17人
226	新人 看護過程 I アセスメント (早期研修)	2022/04/13 13:30~17:15	看護師:19人 看護師:3人
227	新人 看護過程 I アセスメント (早期研修)	2022/04/14 13:30~17:15	看護師:13人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:2人
228	新人 看護過程 I 情報 (早期研修)	2022/04/07 08:30~17:15	看護師:5人 看護師:17人
229	新人 看護過程 I 情報 (早期研修)	2022/04/08 08:30~17:15	看護師:16人 看護師:3人
230	新人 看護過程 I 情報 (早期研修)	2022/04/11 08:30~17:15	看護師:12人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:2人
231	新人 看護過程 I 情報 (早期研修)	2022/04/20 08:30~15:10	看護師:4人
232	新人 技術演習 吸引	2022/04/20 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
233	新人 技術演習 吸引	2022/04/28 08:30~17:15	看護師:2人 看護師:1人
234	新人 技術演習 吸引	2022/05/06 08:30~17:15	看護師:2人 看護師:7人
235	新人 技術演習 吸引	2022/05/09 08:30~17:15	看護師:7人 看護師:1人
236	新人 技術演習 吸引	2022/05/24 08:30~17:15	看護師:4人
237	新人 技術演習 吸引	2022/05/27 08:30~17:15	看護師:1人
238	新人 技術演習 吸引	2022/06/03 13:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
239	新人 技術演習 吸引	2022/06/10 08:30~17:15	看護師:3人
240	新人 技術演習 吸引	2022/06/23 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
241	新人 技術演習 吸引	2022/06/30 08:30~17:15	看護師:5人 看護師:1人
242	新人 技術演習 吸引	2022/08/01 13:00~15:00	看護師:2人
243	新人 技術演習 吸引	2022/08/03 10:30~15:00	看護師:2人 看護師:1人
244	新人 技術演習 吸引	2022/08/09 13:15~17:15	看護師:3人 看護師:1人
245	新人 技術演習 吸引	2022/09/07 08:30~12:00	看護師:1人 看護師:2人
246	新人 技術演習 吸引	2022/09/14 14:00~16:20	看護師:1人
247	新人 技術演習 経管栄養	2022/04/20 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
248	新人 技術演習 経管栄養	2022/04/28 08:30~17:15	看護師:2人 看護師:1人
249	新人 技術演習 経管栄養	2022/05/02 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
250	新人 技術演習 経管栄養	2022/05/06 08:30~17:15	看護師:2人 看護師:7人
251	新人 技術演習 経管栄養	2022/05/09 08:30~17:15	看護師:7人 看護師:1人

## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
252	新人 技術演習 経管栄養	2022/05/24 08:30~17:15	看護師:4人
253	新人 技術演習 経管栄養	2022/05/27 08:30~17:15	看護師:1人
254	新人 技術演習 経管栄養	2022/06/03 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
255	新人 技術演習 経管栄養	2022/06/10 08:30~17:15	看護師:3人
256	新人 技術演習 経管栄養	2022/06/30 08:30~17:15	看護師:3人
257	新人 技術演習 経管栄養	2022/07/05 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:4人
258	新人 技術演習 経管栄養	2022/08/03 08:30~10:30	看護師:2人 看護師:1人
259	新人 技術演習 経管栄養	2022/08/22 13:00~15:30	看護師:2人 看護師:1人
260	新人 技術演習 経管栄養	2022/09/14 14:00~16:20	看護師:1人
261	新人 技術演習 経管栄養	2022/10/13 13:15~14:15	看護師:1人
262	新人 技術演習 経管栄養	2022/10/17 13:15~14:15	看護師:1人
263	新人 技術演習 経管栄養	2022/10/25 13:15~14:15	看護師:1人 看護師:1人
264	新人 技術演習 経管栄養	2022/10/31 13:15~14:15	看護師:1人
265	新人 技術演習 浣腸	2022/05/02 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
266	新人 技術演習 浣腸	2022/05/06 08:30~17:15	看護師:5人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:1人
267	新人 技術演習 浣腸	2022/06/23 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
268	新人 技術演習 浣腸	2022/06/30 08:30~17:15	看護師:3人
269	新人 技術演習 浣腸	2022/07/05 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:4人
270	新人 技術演習 浣腸	2022/08/01 13:30~15:15	看護師:4人 看護師:1人 助産師:1人
271	新人 技術演習 浣腸	2022/08/12 08:30~10:15	看護師:2人
272	新人 技術演習 浣腸	2022/08/23 13:00~15:15	看護師:2人 看護師:5人
273	新人 技術演習 浣腸	2022/08/26 13:00~15:00	看護師:1人 看護師:1人
274	新人 技術演習 浣腸	2022/08/30 14:30~15:30	看護師:3人 看護師:1人
275	新人 技術演習 浣腸	2022/09/09 08:00~10:15	看護師:5人 看護師:1人
276	新人 技術演習 浣腸	2022/10/12 08:30~10:10	看護師:3人
277	新人 技術演習 浣腸	2022/10/18 08:30~11:00	看護師:4人
278	新人 技術演習 (早期研修)	2022/04/07 08:30~17:15	看護師:12人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:2人
279	新人 技術演習 (早期研修)	2022/04/08 08:30~17:15	看護師:5人 看護師:17人
280	新人 技術演習 (早期研修)	2022/04/11 08:30~17:15	看護師:17人 看護師:3人
281	新人 技術演習 (早期研修)	2022/04/21 13:00~16:00	看護師:3人
282	新人 抗がん剤暴露対策	2022/04/15 13:30~13:50	看護師:49人 看護師:10人 助産師:1人 助産師:1人
283	新人 手術部研修	2022/07/11 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
284	新人 手術部研修	2022/07/12 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人



## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
285	新人 手術部研修	2022/07/13 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
286	新人 手術部研修	2022/07/19 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
287	新人 手術部研修	2022/07/20 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
288	新人 手術部研修	2022/07/21 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
289	新人 手術部研修	2022/07/25 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
290	新人 手術部研修	2022/07/26 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
291	新人 手術部研修	2022/07/27 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
292	新人 手術部研修	2022/08/08 08:30~17:15	看護師:2人 看護師:1人
293	新人 手術部研修	2022/08/09 08:30~17:15	看護師:2人 看護師:1人
294	新人 手術部研修	2022/08/10 08:30~17:15	看護師:2人 看護師:1人
295	新人 手術部研修	2022/08/15 08:30~17:15	看護師:5人
296	新人 手術部研修	2022/08/16 08:30~17:15	看護師:5人
297	新人 手術部研修	2022/08/17 08:30~17:15	看護師:5人
298	新人 手術部研修	2022/08/22 08:30~17:15	看護師:2人
299	新人 手術部研修	2022/08/23 08:30~17:15	看護師:2人
300	新人 手術部研修	2022/08/24 08:30~17:15	看護師:2人
301	新人 手術部研修	2022/08/29 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:3人 助産師:1人
302	新人 手術部研修	2022/08/30 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:3人 助産師:1人
303	新人 手術部研修	2022/08/31 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:3人 助産師:1人
304	新人 手術部研修	2022/09/05 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
305	新人 手術部研修	2022/09/06 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
306	新人 手術部研修	2022/09/07 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
307	新人 手術部研修	2022/09/12 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:4人
308	新人 手術部研修	2022/09/13 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:4人
309	新人 手術部研修	2022/09/14 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:4人
310	新人 手術部研修	2022/09/20 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:3人
311	新人 手術部研修	2022/09/21 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:3人
312	新人 手術部研修	2022/09/22 08:30~17:15	看護師:1人 看護師:3人
313	新人 手術部研修	2022/10/11 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
314	新人 手術部研修	2022/10/12 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
315	新人 手術部研修	2022/10/13 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
316	新人 手術部研修	2022/10/17 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
317	新人 手術部研修	2022/10/18 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
318	新人 手術部研修	2022/10/19 08:30~17:15	看護師:3人 看護師:1人
319	新人 手術部研修	2022/10/24 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人

## 研修報告

対象期間:2022年度

No	研修名	日程	人数
320	新人 手術部研修	2022/10/25 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
321	新人 手術部研修	2022/10/26 08:30~17:15	看護師:4人 看護師:1人
322	新人 手術部研修	2022/11/07 08:30~17:15	看護師:3人
323	新人 手術部研修	2022/11/08 08:30~17:15	看護師:3人
324	新人 手術部研修	2022/11/09 08:30~17:15	看護師:3人
325	新人 情報管理 (早期研修)	2022/04/07 08:30~17:15	看護師:5人 看護師:17人
326	新人 情報管理 (早期研修)	2022/04/08 08:30~17:15	看護師:16人 看護師:3人
327	新人 情報管理 (早期研修)	2022/04/11 08:30~17:15	看護師:12人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:2人
328	新人 情報管理 (早期研修)	2022/04/20 08:30~15:10	看護師:4人
329	新人 職業倫理 (早期研修)	2022/04/07 08:30~17:15	看護師:16人 看護師:3人
330	新人 職業倫理 (早期研修)	2022/04/08 08:30~17:15	看護師:12人 助産師:1人 助産師:1人 看護師:2人
331	新人 職業倫理 (早期研修)	2022/04/11 08:30~17:15	看護師:5人 看護師:17人
332	新人 職業倫理 (早期研修)	2022/04/19 08:30~15:40	看護師:4人
333	新人 多重課題演習Step1・技術演習 ヘパリンロック	2022/07/14 13:30~17:15	看護師:4人 看護師:27人 助産師:1人 助産師:1人
334	新人 多重課題演習Step1・技術演習 ヘパリンロック	2022/07/15 13:30~17:15	看護師:21人 看護師:6人
335	新人 多重課題演習Step2	2022/10/06 08:30~12:30	看護師:23人 看護師:5人
336	新人 多重課題演習Step2	2022/10/07 08:30~12:30	看護師:23人 看護師:6人 助産師:1人
337	新人 薬の知識	2022/04/15 13:30~14:10	看護師:49人 看護師:10人 助産師:1人 助産師:1人
338	新人 褥瘡予防と管理	2022/04/15 13:30~14:10	看護師:49人 看護師:10人 助産師:1人 助産師:1人
339	新生児救急蘇生	2023/03/18 13:00~17:00	看護師:1人
340	新生児蘇生講習会	2023/03/18 13:00~16:00	看護師:1人
341	静脈注射	2022/12/10 08:30~12:30	看護師:44人 看護師:8人 助産師:1人 助産師:1人
342	静脈注射	2022/12/22 08:30~12:00	看護師:1人 看護師:1人
343	静脈注射	2022/12/23 08:30~12:00	看護師:1人
344	第5回病診連携セミナー	2022/06/23 18:00~18:30	看護師:1人
345	地域包括ケア	2023/01/26 08:30~12:30	看護師:8人 看護師:3人

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 三股浩光	
管理担当者氏名	診療記録管理責任者, 医薬品安全管理責任者, 医療機器安全管理責任者, 医療情報部長, 放射線部長, 看護部長, 各診療科長, 各診療施設長, 各課長	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課	診療に関する記録は電子カルテ内に保存している。 診療録の学外への持ち出しは禁止している。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	電子カルテ内	
		手術記録	電子カルテ内	
		看護記録	電子カルテ内	
		検査所見記録	電子カルテ内	
		エックス線写真	電子カルテ内	
		紹介状	電子カルテ内	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課 研究推進課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課 (医療安全管理部)	
規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課 (医療安全管理部)		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	医事課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課 (医療安全管理部)
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課 (医療安全管理部)
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 (医療安全管理部)
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ② 現状
閲覧責任者氏名	医学・病院事務部長 近藤政美
閲覧担当者氏名	総務課長 安東敏明
閲覧の求めに応じる場所	第2会議室
閲覧の手続の概要 ・閲覧を希望する者は、総務課に申し込みを行う。 ・閲覧担当者は、閲覧を希望する者を閲覧場所の第2会議室に案内し、閲覧いただく。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全に関する基本的考え方</li> <li>2. 医療安全管理に係る体制確保のための組織等</li> <li>3. 医療安全管理に係る職員の教育・研修</li> <li>4. 医療事故発生時の対応</li> <li>5. 医療事故等の報告及び改善策の立案</li> <li>6. 院内死亡全例の報告及び検証</li> <li>7. 当該指針の閲覧</li> <li>8. 患者と医療従事者との間の診療情報の共有に関する基本方針</li> <li>9. 患者相談に関する基本方針</li> <li>10. その他（医療安全管理マニュアル及び改善策の見直し、医療安全対策の推進を図る機関への報告、高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療の提供等）</li> </ol> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 開催状況：年 13回</li> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全管理指針及び医療安全管理マニュアルの策定及び見直しに関すること。</li> <li>2. 医療事故の判定に関すること。</li> <li>3. 医療安全管理に関する改善策に関すること。</li> <li>4. 医療安全管理のための職員研修に関すること。</li> <li>5. 医事紛争に関すること。</li> <li>6. その他医療安全管理上の重要事項に関すること。</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医薬品の適切な管理と取扱いについて（第1回薬剤セミナー）</li> <li>2. 医療機器を正しく使おう（第1回ME機器講習会）</li> <li>3. 医薬品の適正使用について（第2回薬剤セミナー）</li> <li>4. 30分で学ぶ医療機器の正しい使い方（第2回ME機器講習会）</li> <li>5. 造影CT検査における当院の注意点</li> <li>6. 令和4年度インシデント報告の総括</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事故（インシデント）報告については、調査・分析を行い、改善策の立案を行っている。 全体で共有すべき事例や新たに策定した安全対策については、毎月開催される病院運営委員会及びリスクマネージャー連絡会で周知し、全体に対しては、リスクマネージャーを通して周知を図っている。</li> <li>2. 定期的に院内ラウンドを実施し、安全情報等の周知状況や安全確認手順の実施検証及び指導・助言を行っている。</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染に対する基本的考え方</li> <li>2. 院内感染対策のための委員会およびその他組織に関する基本的事項</li> <li>3. 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li> <li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6. 患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7. その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染予防対策の確立</li> <li>2. 感染予防の実施，監視及び指導</li> <li>3. 感染源の調査</li> <li>4. 感染予防対策に関する情報の収集</li> <li>5. その他感染予防に関すること</li> </ol> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年4回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平時から取り組む標準予防策</li> <li>2. フルオロキノロン系抗菌薬について</li> <li>3. インフルエンザ、COVID-19 ～今、知ってほしいこと～</li> <li>4. 微生物検査における検体採取の注意点</li> </ol> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内の耐性菌検出状況や感染症患者の状況を電子カルテシステム内の感染制御システムで管理している。主要な耐性菌の検出状況や感染者情報については毎月報告を行っている。</li> <li>2. 抗菌薬の使用状況やTDM実施状況についても定期的に報告を行っており，注意を要する抗菌薬については届出制とし，感染制御部の介入を実施している。</li> <li>3. 感染制御部による院内ラウンドを定期的に行い，標準予防策や感染対策の実施状況の確認，指導を行っている。また，各種感染症サーベイランスも行っており，定期的に報告を行っている。</li> <li>4. マニュアル変更や院内感染対策の重要情報については，病院運営委員会及び病院連絡会を通じて周知を図るとともに，感染制御部ニュースを発行し各部署へメール配信している。</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。



規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○メディカルスタッフ新採用者オリエンテーション（対象：メディカルスタッフ新採用者）</li> <li>○静脈注射研修会（対象：新人看護師）</li> <li>○「薬の知識」研修会（対象：新人看護師）</li> <li>○薬剤セミナー（医療安全管理セミナー）（対象：全職員）</li> <li>○医薬品の取り扱いについて（ビデオセミナー）（対象：中途採用者）</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成（有・無）</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>全病棟・部門を対象に実施し、確認内容を保管記録している。</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有・無）</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 免疫関連有害事象（irAE）に対するミコフェノール酸モフェチルの投与</li> <li>2. 重度の低カリウム血症に対する高濃度塩化カリウム製剤の投与</li> <li>3. サイトメガロウイルス虹彩炎に対するガンシクロビル点眼液の投与</li> </ol> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>得られた情報のうち必要なものについては医薬品を取り扱う職員に対して周知する。</li> <li>D1ニュース（月1回発行）、薬剤部便り（月1回発行）、その他必要に応じて通知文書として院内通知している。</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 82 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：全従業者を対象としたME機器講習会（年2回）、新卒の医師・看護師の研修プログラム、新採用者のオリエンテーション、中途採用者等についても研修会を実施しており、有効性・安全性・使用方法・保守点検に関する内容とともに当院で不具合が発生した場合の対応やマニュアルや添付文書などの遵守すべき内容を特に周知している。</li> <li>1. ME機器講習会： 全従業者を対象に年2回実施、前期では基礎的知識や基本的な取り扱いとした内容、後期はインシデント事例や安全性情報に関連する内容等（医療材料含む）。</li> <li>2. 研修プログラム： 医療機器の取り扱いに関して組み込まれており、人工呼吸器などの生命維持管理装置や除細動器、ベッドサイドモニターや輸液ポンプなどの安全性や使用方法、保守点検に関して実機を用いた実習を含めた内容。</li> <li>3. 各種医療機器に関する研修会： 主に安全性や使用方法、保守点検に関してできる限り実機を用いた内容。</li> <li>4. 導入時・借用時研修： 新規導入時、生命維持管理装置や中央貸出機器の代替機やデモ機の場合には導入時研修と同様に内容を実施。</li> <li>5. 放射線関連 放射線関連装置の安全使用のための研修として、①新規導入時研修、②特定機能病院における定期講習（年2回以上）を実施している。①に関しては、該当装置の使用担当者を対象として安全使用のために必要な項目について研修を実施し、令和4年度は新規導入装置3機種（うち、一部は放射線治療関連装置として導入）について延べ22回の実施実績であった。②は診療用高エネルギー発生装置（リニアック）および診療用放射線照射装置について、放射線治療業務を担当する診療放射線技師を対象に、技術・知識習得が必要な講習会等に参加している。令和4年度は18回の該当講習会に参加した。</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 （☑・無）</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 添付文書やマニュアルに記載されている保守点検に関する事項を参照し、医療機器の特性などから特に保守点検が必要と考えられるものについて、保守点検計画書を作成している。保守点検間隔については、実施の翌月から数え、12ヵ月を超えないこととしている。医療機器安全管理専門委員会にて、前期では進捗状況の報告、後期の年度末では実施状況と来年度の計画について報告・承認を得なければならない。</li> <li>2. 臨床工学技士や診療放射線技師等は機種別に作成された保守点検計画書に沿って実施し、それぞれが進捗状況の把握や責任者の押印にて確認している。</li> <li>3. 放射線関連 放射線部が管理する医療機器について、保守点検年間計画を策定し、この計画に従って実施している。保守点検のうち、日常点検は各装置の日常点検表に基づいて実施、記録し、月ごとに管理者が確認する体制を構築している。定期点検（スポットメンテナンス含む）は原則製造メーカーに委託し、必要な項目について点検・調整を行う。装置ごとのメンテナンスファイルを作成し、日常点検ならびに定期点検の結果を保管している。</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （☑・無）</li> </ul>	

- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：
  - ・ リフタルK：経口腔的切除可能な咽喉頭癌に対する適応外使用
  - ・ アダカラム：既存の治療に反応しない難治性ベーチェット病、壊疽性膿皮症に対する適応外使用
  - ・ アダカラム：重症型アルコール性肝炎に対する適応外使用
  
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  1. 経理課挾間調達室は供給業者に対して、物品購入契約締結後1週間以内に物品購入契約書、入札内訳書、見積書、カタログおよび添付文書とともに医療機器マスター登録書に必要事項を記入の上、提出させる。これらの情報を基に医療機器安全管理システムにて照会し、設置部門での使用実績や同一機種がなく、新規導入機器であると判断した場合には、導入時研修の必要性の有無を医療機器安全管理責任者に報告する。
  2. 安全性情報等の収集に関する協力依頼については、安全使用のために必要な情報を製造販売業者から一元的に収集するために添付文書の改訂、自主回収・改修等の不具合情報や安全性情報について全て経理課挾間調達室に提出・報告を求める周知文書を納品時、6月・12月に供給業者に通知し、社内での周知も依頼している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 責任者の資格（医師・歯科医師）</li> <li>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</li> <li>・ 医療安全管理責任者 医師1名（医療安全担当副病院長、医療安全管理部長）</li> <li>・ 大分大学医学部附属病院医療安全管理体制に関する細則第3条において、「医療安全管理責任者を置き、副病院長（安全管理担当）をもって充て、医療安全管理責任者は、医療安全管理部、メディカル・リスクマネジメント委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括する。」旨規定している。</li> </ul>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（7名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>【院内の医薬品使用状況の確認】</li> <p>医療安全担当主任は、薬剤部各部門より月1回、医薬品使用の情報（添付文書情報、緊急安全性情報、安全性速報、未承認の医薬品の使用）を収集している。</p> <li>【各種情報の整理】</li> <p>医療安全担当主任が収集した使用状況を整理し、必要な情報についてDIニュース（月1回発行）、薬剤部便り（月1回発行）、通知文書等で周知している。周知状況は各部門・病棟毎に年1回確認票を基に確認している。</p> <li>【医薬品安全管理責任者への報告】</li> <p>医療安全担当主任は、整理した情報を必要に応じて医薬品安全管理責任者へ報告している。</p> </ul> </li> <li>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>【未承認等医薬品の処方状況の収集】</li> <p>医療安全担当主任は、調剤担当薬剤師や病棟担当薬剤師より未承認等の医薬品の処方状況を収集している。</p> <li>【未承認等医薬品のリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認】</li> <p>医療安全担当主任は収集した情報を基に、処方の妥当性およびリスク等を確認している。</p> <li>【未承認等医薬品を処方した医師等に対し処方変更等の提案、医薬品安全管理責任者への報告】</li> <p>リスクおよび処方の妥当性を検討後、医療安全担当主任は適宜処方変更を医師へ提案している。さらに使用を継続する場合にはクオリティマネジメント室未承認新規医薬品等管理部門にて未承認薬の臨床使用について検討している。また、医療安全担当主任は検討結果についてリストを</p> </ul> </li> </ul>	

<p>作成し、医薬品安全管理責任者へ必要に応じて報告している。</p> <p>・担当者の指名の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：          令和4年8月に診療情報管理支援室で「検査等説明書」の記載項目の監査を実施。監査結果は、診療記録委員会、病院運営委員会にて報告するとともに、診療科・看護部へ報告書を送付し、記載についての注意喚起を行った。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>令和4年10月 診療記録委員会に診療記録監査チームを設置し、診療記録監査を実施。</p> <p>令和5年2月 監査結果報告書を作成し、診療記録委員会、病院運営委員会にて報告するとともに、診療科、看護部へ監査結果報告書を送付し、記載についての注意喚起を行った。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（3）名、兼任（17）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（9）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名</p> <p>うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（3）名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. メディカル・リスクマネジメント委員会（以下「委員会」という）が有効に機能するよう具体的な提案事項等の作成及びその他委員会の庶務に関すること</li> <li>2. インシデント報告を分析し、その結果を委員会へ報告すること及び現場へのフィードバ</li> </ol>	

- ックに関すること
3. 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと
  4. 事故等について、患者や家族への説明などその発生時の対応状況の確認を行うとともに必要な指導を行うこと
  5. 事故等について、その原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。
  6. 医療内容についての相談等に関すること
  7. 医療安全に係る連絡調整に関すること
  8. 医療安全管理に関する職員研修の企画及び運営に関すること
  9. 医療安全の推進に関すること
  10. 医療安全に係る診療の状況の把握及び職員の意識向上の状況の確認に関すること。
  11. その他医療安全に関し必要な事項

医師については専従医師を1名配置、薬剤師については専従薬剤師を1名配置、看護師については専従看護師を2名配置済である。

診療内容及び従事者の医療安全の認識について、クオリティマネジメント室と協同し、平時からのモニタリングとして以下の項目を実施している。

- ・手術患者の肺血栓塞栓症の予防対策実施率
- ・手術の予定出血量と実測値の比較
- ・手術の予定手術時間と実際の手術時間の比較
- ・定期的に開催するセミナーでの小テストの実施

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（10件）、及び許可件数（9件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
  1. 高難度新規医療技術を実施する診療科の長（以下「診療科長」という。）から当該高難度新規医療技術の提供の申請が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、大分大学医学部附属病院高難度新規医療技術評価委員会に対し、当該高難度新規医療技術の提供の適否、その実施を認める条件等について意見を求めること。
  2. 前号の意見の求めに応じ、大分大学医学部附属病院高難度新規医療技術評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、高難度新規医療技術の提供の申請を行った診療科長に対し、その結果を別に定める適否結果通知書により通知すること。
  3. 当該高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、術後定期的に、診療録等の記載内容を確認すること。万一、患者が死亡した場合やその他必要な場合には、

診療録等の記載内容を確認すること。

4. 高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、従業者の遵守状況の確認を行うこと。
5. 高難度新規医療技術の提供の適否等について決定したとき、及び前号の遵守状況を確認したときに、その内容について病院長に報告すること。
6. 大分大学医学部附属病院高難度新規医療技術評価委員会における審査資料及び議事概要並びに従業員の遵守状況の確認記録について、審査の日又は確認の日から5年間保存すること。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 92 件）、及び許可件数（ 89 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
  1. 未承認新規医薬品等を使用する診療科の長（以下「診療科長」という。）から当該未承認新規医薬品等の臨床使用に係る申請が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、大分大学医学部附属病院未承認新規医薬品等臨床使用審査委員会に対して当該未承認新規医薬品等の臨床使用の適否及び条件等について意見を求めること。
  2. 前号の意見の求めに応じ、大分大学医学部附属病院未承認新規医薬品等臨床使用審査委員会が述べた意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の臨床使用の適否及び使用条件等について決定し、未承認新規医薬品等の臨床使用に係る申請を行った診療科長に対しその結果を書面により通知すること。
  3. 当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づき使用されていたかどうかに関し、定期的に、及び臨床使用後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認すること。
  4. 未承認新規医薬品等が適正な手続に基づき臨床において使用されていたかどうかに関し、従業者の遵守状況の確認を行うこと。

5. 未承認新規医薬品等の臨床使用の適否について決定したとき、及び前号の遵守状況を確認したときに、その内容について病院長に報告すること。

6. 大分大学医学部附属病院未承認新規医薬品等臨床使用審査委員会における審議資料及び議事概要並びに従業員の遵守状況の確認記録について、審査の日又は確認の日から5年間保存すること

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  ・ 無 )

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  ・ 無 )

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 268 件

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 23 件

・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

院内死亡症例の報告について検証・審議し、改善策の立案等を行うこと。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・ 他の特定機能病院等への立入り (  (病院名：群馬大学医学部附属病院) ・ 無)

・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (  (病院名：千葉大学医学部附属病院) ・ 無)

・ 技術的助言の実施状況

昨年度は相互立入り（ピアレビュー）はWEB訪問形式で実施した。千葉大学からの指摘事項及びその対応は次のとおり。

1. 侵襲的処置の安全確保への対応

侵襲的処置の安全確保制度検討ワーキングにおいて、医療安全管理部長、麻酔科医師、消化器外科医師、消化器内科医師、放射線科医師、事務職員により検討を実施した。

2. 高難度新規医療技術管理部門の職員配置

高難度新規医療技術管理部門への多他職種の配置について検討を進めている。

3. 高難度医療技術の適切な実施体制を確認する手順

高難度医療技術の実施体制に係る確認の手順として、定期的に各診療科に確認している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況



・体制の確保状況

- ① 患者相談窓口（医療安全相談室）の活動の趣旨：患者からの医療内容、医療安全等に関することの相談受付

患者相談窓口（医療安全相談室）の設置状況：窓口名称 医療安全相談室（患者相談窓口）

担当者及び相談に応じる職員：医療安全管理部副部長、医事課医療安全係長

責任者：副病院長（安全管理担当）

相談に応じる時間帯：月～金 8：30～17：15

- ② 医療安全管理マニュアル 総論 第7（患者相談）に下記のように定めている

- 1) 医療相談の受付窓口は、患者相談窓口とする。
- 2) 医療相談があった場合は、原則として医療安全管理部副部長が対応する。
- 3) 相談者との面談は、他者のいない個室で、職員2人以上で対応する。
- 4) 医療相談に携わる職員は、その相談情報の機密保護について厳に注意し、患者等が不利益を受けることがないよう配慮する。
- 5) 医療相談を行った場合は、患者等からの相談・苦情報告書を作成し、病院長まで報告する。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和4年度医療安全管理セミナー（e-Learning） 6回実施

（講師：薬剤師、臨床工学技士、診療放射線技師、看護師）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医薬品安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構主催の「2022年度特定機能病院管理者研修」を受講済

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和元年7月24日～7月26日に、（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（主たる

機能種別「一般病院3」及び副機能種別「精神科病院」)を受審し、令和2年2月7日に認定(改善要望事項なし。有効期限は令和7年2月6日)を受け、本院HP上で公表済みである。

- ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況  
該当なし
- ・評価を踏まえ講じた措置  
該当なし

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容</li> </ul> <p>【国立大学法人大分大学医学部附属病院長の選考等に関する規程（抜粋）】</p> <p>第3条 病院長候補者となることができる者は、医師免許を有し、かつ、国立大学法人大分大学の教授（教授予定者を含む。）であって、次の各号に掲げる資質及び能力を持つものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1） 人格が高潔で、学識に優れ、人望があり、かつ、医学部附属病院（以下「本院」という。）の現状を理解した上で将来の在り方に明確な理念を持ち、リーダーシップを発揮できる者</li> <li>（2） 医療人教育機関である本院の責任を自覚し、優れた教育者として卒前教育、卒後研修及びその後の医療人養成に貢献できる者</li> <li>（3） 高度な医療を実践する本院の責任を自覚し、最先端の医療の提供を推進できる者</li> <li>（4） 患者の安全を第一として、医療安全の確保を担保する知識、経験及び能力を有する者</li> <li>（5） 科学としての医学の重要性を理解し、医学研究機関である本院の医学研究の発展に貢献できる者</li> <li>（6） 大分県の中核病院である本院のリーダーとして地域医療の現状を深く理解し、その維持及び発展に貢献できる者</li> <li>（7） 病院の運営に関する経験を有し、病院経営を担う能力を有する者</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul> <p>大分大学医学部附属病院のホームページにおいて公表している。</p>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

<p>前年度における管理者の選考の実施の有無</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ・ 無</p>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul> <p>大分大学医学部附属病院のホームページにおいて公表している。</p>											
<p>管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>所属</th> <th>委員長 (○を付す)</th> <th>選定理由</th> <th>特別の関係</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>杉尾 賢二</td> <td>大分大学</td> <td>○</td> <td>大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項1号に基づく学長が指名する理事</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> ・ 無</td> </tr> </tbody> </table>	氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係	杉尾 賢二	大分大学	○	大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項1号に基づく学長が指名する理事	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係							
杉尾 賢二	大分大学	○	大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項1号に基づく学長が指名する理事	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無							

猪股 雅史	大分大学医学部		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項2号に基づく医学部長	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
柴田 洋孝	大分大学医学部		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項4号に基づく医学部医学科教授	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
高橋 尚彦	大分大学医学部		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項4号に基づく医学部医学科教授	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
宮崎 英士	大分大学医学部		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項4号に基づく医学部医学科教授	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
原田 千鶴	大分大学医学部		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項5号に基づく医学部看護学科教授	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
富永 志津代	大分大学医学部 附属病院		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項7号に基づく医学部附属病院看護部長	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
河野 幸治	大分県医師会長、 河野小児科医院院長		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項8号に基づく学外の有識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
井上 敏郎	大分県病院局長		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項8号に基づく学外の有識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
内田 勝彦	全国保健所長会会長、 大分県東部保健所長		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項8号に基づく学外の有識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
草野 俊介	社会福祉法人大分 県社会福祉協議会長		大分大学医学部附属病院長選考会議細則第3条1項8号に基づく学外の有識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合議体の主要な審議内容 病院の運営方針, 中期計画, 予算及び決算 等</li>   <li>・ 審議の概要の従業者への周知状況 ○医学部附属病院運営に関する連絡会 ○医局長会 ○医学部附属病院の院内専用ホームページより常時閲覧可</li>   <li>・ 合議体に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</li> <li>・ 公表の方法 法人本部のホームページにおいて公表している。</li>   <li>・ 外部有識者からの意見聴取の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</li> </ul>	
合議体の委員名簿	

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
三股 浩光	○	医師	病院長, 災害対策室長
平松 和史		医師	副病院長, 呼吸器・感染症内科長, 感染制御部長, 医療安全管理部長
柴田 洋孝		医師	病院長補佐, 内分泌・糖尿病内科長, 膠原病内科長, 腎臓内科長
松原 悦朗		医師	脳神経内科長, 認知症先端医療推進センター長
村上 和成		医師	消化器内科長, 内視鏡診療部長, 肝疾患相談センター長
高橋 尚彦		医師	副病院長, 循環器内科長, CCU部長
緒方 正男		医師	病院長補佐, 血液内科長, 腫瘍内科長, 輸血部長, 総合患者支援センター長
宮崎 英士		医師	副病院長, 総合内科・総合診療科長, 卒後臨床研修センター長
寺尾 岳		医師	副病院長, 精神科長
井原 健二		医師	小児科長, 遺伝子診療室長, 周産母子センター長
猪股 雅史		医師	医学部長, 消化器外科長, 小児外科長,
小副川 敦		医師	呼吸器外科長, 乳腺外科長
宮本 伸二		医師	副病院長, 心臓血管外科長, クオリティマネジメント室長
秦 暢宏		医師	脳神経外科長
加来 信広		医師	整形外科長, リハビリテーション部長

清水 史明		医師	形成外科長
波多野 豊		医師	皮膚科長, 移植・再生医療支援室長
秦 聡孝		医師	腎臓外科・泌尿器科長, 材料部長, 血液浄化センター長
木許 賢一		医師	眼科長
鈴木 正志		医師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科長
小林 隆志		医師	産科婦人科長
浅山 良樹		医師	放射線科長, 放射線部長
北野 敬明		医師	麻酔科長, 手術部長, 集中治療部長
安部 隆三		医師	救命救急科長, 高度救命救急センター長, 看護師特定行為統括センター長
河野 憲司		歯科医師	歯科口腔外科長
駄阿 勉		医師	病理診断科・病理部長
下村 剛		医師	病院長補佐, 医療情報部長
上村 尚人		医師	臨床薬理センター長, 総合臨床研究センター長
大津 智		医師	腫瘍センター長
穴井 博文		医師	ME機器センター長
伊東 弘樹		薬剤師	副病院長, 薬剤部長
富永 志津代		看護師	副病院長, 看護部長
吉田 幸人		技術職員	医療技術部長
近藤 政美		事務職員	副病院長, 医学・病院事務部長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（  ・ 無 ）
- ・ 公表の方法  
法人本部のホームページにおいて公表している。
- ・ 規程の主な内容  
【大分大学医学部附属病院規程（抜粋）】  
（病院長）  
第3条 病院に病院長を置く。  
2 病院長は、病院の管理運営を総括し、職員を監督するため、次の各号に掲げる事項について権限を有する。  
（1） 病院の管理運営のために必要となる人事及び予算に関すること。  
（2） 病院の診療、教育及び研究に係る実施の許可、報告、調査、是正又は停止に関すること
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
【大分大学医学部附属病院規程（抜粋）】  
（副病院長）  
第4条 病院に副病院長7人を置き、総務・経営・企画担当、安全管理担当、医療人育成担当、先端医療・クオリティマネジメント担当、薬事担当、看護担当及び事務担当とする。ただし、病院長が特に必要と認める場合は、更に1人の副病院長を置くことができる。  
2 副病院長は、病院長の命を受け、次の各号に掲げる事項について病院長の職務を補佐する。  
（1） 副病院長（総務・経営・企画担当）  
主として本院における経営・企画等、運営戦略的事項全般に関すること。  
（2） 副病院長（安全管理担当）  
主として本院における医療安全管理及び危機管理に関すること。  
（3） 副病院長（医療人育成担当）  
主として本院及び関連病院における卒後臨床研修・地域医療研修の実施・計画等、医療人の育成に関する事項全般に関すること。  
（4） 副病院長（先端医療・クオリティマネジメント担当）  
主として本院における先端医療、研究及びクオリティマネジメント全般に関すること。  
（5） 副病院長（薬事担当）  
主として本院における薬事業務全般に関すること。  
（6） 副病院長（看護担当）  
主として本院における看護業務全般に関すること。  
（7） 副病院長（事務担当）  
主として本院における事務業務全般に関すること。  
（8） 副病院長（特命事項担当）  
必要に応じ置くものとし、主として病院長が指示した特命事項に関すること。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
特定機能病院管理者研修、医薬品安全管理責任者等講習会、トップマネジメント

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全管理責任者、大分大学医学部附属病院メディカル・リスクマネジメント委員会、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者等の業務が適切に行われているかどうかについて、病院長に報告を求めること。</li> <li>2. 前号に規定する業務に関し、実地の確認を行うこと。</li> <li>3. 学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講じるよう求めること。</li> <li>4. 医療安全管理に係る監査業務の実施結果について公表すること。</li> <li>5. その他医療安全管理の監査及び評価に関し必要な事項</li> </ol> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法： 医学部附属病院のホームページにおいて公表している。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
佐藤 昌司	大分県立病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
岡村 邦彦	岡村法律相談事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
大嶋 美登子	別府大学		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
小林 隆志	大分大学医学部		学長が必要と認める者	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他



規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容  
医学部附属病院の業務に関し、特定機能病院の要件及び医療法改正に伴う体制整備等について定期監査を年に一度実施している。
- ・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 (  ・ 無 )
- ・ 公表の方法  
法人本部のホームページにおいて公表している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況                          役員会で病院の管理運営に関する重要事項を、経営協議会で病院の収支報告について確認を行う。</li> <li>・ 会議体の実施状況                          役員会（年20回）                          経営協議会（年8回）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数                          役員会（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年2回）                          経営協議会（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年8回）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ 公表の方法                          法人本部のホームページにおいて公表している</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年〇件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 病院HP内の該当URLを貼付し、毎年4月にメーリングリスト(学内周知文書)を用いて、周知を行っている。</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページによる情報発信</p> <p>病院広報誌の発行（年4回）</p> <p>県内関連病院長連絡会議の開催（年1回）</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>チーム医療（外来化学療法チーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、栄養サポートチーム等）を実践しており、複数診療科の医師及び多職種のスタッフが連携して対応を行っている。</p> <p>。</p>	